

令和5年度

福岡県立美術館年報

目 次

沿革	1
展覧会事業一覧	4
月別入館者数一覧	5
展覧会事業	
1 常設展	6
2 企画展	8
3 共催展	14
貸館事業	21
普及事業	25
スクール・ミュージアム事業（アートコース）	27
収集事業	29
博物館実習	33
美術作品の貸出	34
どこでもケンビ（バーチャル美術館事業）	36
組織図・名簿	37
主要各室概要	38
建築概要	40
設備概要	41
年度別入館者状況	42
企画展の開催状況一覧	43
共催展（実行委員会方式）の開催状況一覧	44
福岡県美術展覧会（県展）の開催状況一覧	46
県展巡回展の開催状況一覧	47
主要貸館展の開催状況一覧	48
美術館利用案内	49

沿 革

昭和 29 年 3 月	福岡文化センター建設期成連盟（会長・荒川文六）を結成
昭和 35 年 9 月 10 日	福岡県と福岡市の間で、須崎公園の一角に文化センターを建設する話合いが進められ、知事と市長が覚書を交換。市が市民会館を、県が図書館と美術館を建設することを決定
昭和 38 年 2 月	県は図書館に美術館を併置した文化会館を建設することとし工費 34,056 万円をもって 2 月 15 日着工、翌 39 年 8 月 15 日落成
昭和 39 年 11 月 3 日	文化会館が中央区天神 5 丁目に開館、鉄筋コンクリート 4 階建て、書庫地下 1 階、地上 7 階、延べ 7,205 m ²
昭和 54 年 12 月	文化会館が図書資料の増大等により手狭になったため、新しく県立図書館を建設するための基本設計費が 12 月県議会において議決
昭和 55 年 8 月 8 日	福岡県文化会館を美術専門の施設として活用することについて、福岡県文化会館改築検討委員会発足
昭和 57 年 6 月 2 日	福岡県文化会館改築検討委員会から「福岡県文化会館の基本構想－新しい出発に際して－」提案
昭和 58 年 6 月	福岡県文化会館改築設計費が 6 月県議会にて議決
昭和 59 年 3 月	福岡県文化会館改築工事費が 3 月県議会にて議決
昭和 59 年 7 月 1 日	改築工事のため福岡市早良区百道に県文化会館美術部仮事務所設置
昭和 59 年 7 月 6 日	美術館部門は、総工費約 14 億円を持って全面改築工事起工
昭和 60 年 3 月 31 日	『尾形家絵画資料目録』を発行
昭和 60 年 7 月 30 日	「福岡県立美術館組織規則」（教育委員会規則第 8 号）制定 「福岡県立美術館協議会規則」（教育委員会規則第 9 号）制定
昭和 60 年 7 月 31 日	県立美術館改築工事竣工
昭和 60 年 8 月 1 日	「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」を一部改正し、県立美術館及び美術館協議会を設置
昭和 60 年 10 月 22 日	「福岡県立美術館の利用等に関する規則」（教育委員会規則第 11 号）制定
昭和 60 年 11 月 2 日	「福岡県立美術館使用料条例施行規則」（県規則第 62 号）改正
昭和 60 年 11 月 3 日	県立美術館開館
昭和 60 年 11 月 3 日	開館記念特別展「現代美術の展望'85 FUKUOKA 変貌するイメージーション」開催
昭和 60 年 11 月 3 日	館ニュース「とっぷらいと」創刊号を発行
昭和 60 年 12 月 24 日	博物館法第 10 条により博物館登録原簿に登録
昭和 61 年 3 月 31 日	『尾形家絵画資料図版』を発行
昭和 61 年 11 月 13 日	日本博物館協議会全国大会を幹事県として開催
昭和 62 年 7 月 2 日	実行委員会方式による第 1 回展として「第 42 回春の院展」を開催
平成 2 年 3 月 30 日	「福岡県立美術館美術品取得基金条例」（条例第 15 号）制定
平成 2 年 7 月 23 日	「福岡県立美術館美術品取得基金管理規則」（県規則第 35 号）制定
平成 2 年 10 月 6 日	とびうめ国体記念展として「ホノルル美術館所蔵品によるヨーロッパ・アメリカの版画展」及び「福岡県現代の工芸秀作展」を開催
平成 3 年 3 月 6 日	第 1 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「西洋絵画への挑戦」を開催
平成 3 年 7 月 30 日	アジア・ジュニア美術展福岡'91（第 1 回）を開催
平成 3 年 7 月 31 日	県立美術館外壁工事終了
平成 4 年 3 月 5 日	第 2 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「西國工芸博覧會」を開催
平成 4 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 27 号）改正し、展示室の観覧料、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
平成 4 年 6 月 29 日	「美術館連絡協議会」に新規加盟
平成 4 年 10 月 3 日	ハイビジョン静止画システムを導入し、ハイビジョンギャラリーを開設
平成 4 年 10 月 20 日	九州博物館協議会第 22 回学芸員・事務職員研修会を幹事県として開催
平成 5 年 2 月 11 日	第 3 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「黄檗禅の美術」を開催
平成 5 年 8 月 3 日	アジア・ジュニア美術展福岡'93（第 2 回）を開催
平成 5 年 10 月 7 日	西瀬戸 7 県合同企画展「西瀬戸近代美術展」開催

平成 5 年 10 月 9 日	国立アジア文明博物館の誘致実現に向けた、日中韓合同企画「アジア文明交流展」（主催：アジア文明交流展実行委員会）を開催
平成 5 年 11 月 8 日	美術図書室に児童生徒用の図書コーナー設置
平成 6 年 9 月 6 日	第 50 回県展開催
平成 6 年 9 月 17 日	第 50 回福岡県美術展覧会記念講演会
平成 6 年 11 月 20 日	大内田茂土遺作収蔵庫設置
平成 7 年 3 月 31 日	『大内田茂土遺作受贈目録』を発行
平成 7 年 7 月 21 日	アジア・ジュニア美術展福岡'95（第 3 回）を開催
平成 7 年 9 月 15 日	『福岡県立美術館所蔵名作 50 選』を発行
平成 7 年 9 月 17 日	福岡県立美術館開館 10 周年記念巡回展「移動美術館－郷土美術のパイオニアたち」を開催
平成 7 年 11 月 11 日	福岡県立美術館開館 10 周年記念展「郷土美術名鑑－美のパイオニアたち」を開催
平成 8 年 3 月 31 日	『福岡県立美術館所蔵品目録』を発行
平成 9 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 59 号）改正し、展示室の観覧料、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
平成 9 年 10 月 9 日	九州北部三県文化交流展 生誕 100 年記念「中村琢二展」開催
平成 11 年 3 月 18 日	『福岡県展史 1940－1994』を発行
平成 14 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例施行規則」（福岡県規則第 6 号）を改正し、展示室の観覧料の高校生以下について全土曜日を無料に改正
平成 15 年 8 月 4 日	国の緊急地域雇用創出特別基金事業に基づく「福岡県立美術館所蔵品デジタル化・巡回展示会事業」に着手
平成 17 年 3 月 20 日	福岡県西方沖地震により、施設設備及び美術品の一部損壊
平成 17 年 11 月 12 日	第 18 回全国健康福祉祭ふくおか大会ねんりんピックふくおか 2005 美術展開催
平成 17 年 11 月 12 日	常陸宮・常陸宮妃両殿下美術展開会式御臨席
平成 19 年 3 月 23 日	～ 平成 20 年 8 月 28 日
	福岡県立美術館将来構想検討委員会開催（第 1 回～第 5 回）
平成 19 年 9 月～12 月	財団法人 地域創造の助成により平成 19 年度公立美術館活性化事業「北部福岡アート・トライアングル」を県立美術館、春日市ふれあいセンター、甘木歴史資料館で実施
平成 20 年 8 月	福岡県立美術館将来構想検討委員会の報告「新しい福岡県立美術館のあり方について」公表
平成 21 年度	福岡県教職員互助会との共催により、スクール・アートバス事業開始
平成 23 年度	福岡市のミュージアム 3 館（福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館）が連携して開催してきた「福岡ミュージアムウィーク」に新たに参加
平成 23 年 9 月	県立美術館入館者 500 万人達成
平成 24 年度	福岡県教職員互助会、福岡県青少年科学館との共催により、スクール・アートバス事業の後継事業としてアート・サイエンスの 2 つのコースを設けたスクール・ミュージアムバス事業開始
平成 24 年 4 月 1 日	博物館法等改正に伴い、「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」及び「福岡県立美術館協議会規則」を改正し、協議会委員の任命基準等を追加
平成 25 年度	スクール・ミュージアムバス事業をスクール・ミュージアム事業に改称
平成 25 年度	福岡市内のミュージアムが連携して情報発信活動を行う「ふくおかミュージアム連絡会議」に参加
平成 26 年 1 月 5 日	建物の耐震基準をクリアするため、耐震工事を実施するとともに臨時休館（～8 月 31 日）
平成 26 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 7 号）改正し、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
平成 26 年 10 月 4 日	福岡県文化会館建設 50 年記念「とととと？ きおく×キロク＝」展開催
平成 26 年 11 月 29 日	～ 平成 28 年 5 月 8 日
	福岡県立美術館開館 30 周年記念 コレクション展連続企画 2014-15 開催（第 1 弾～第 4 弾）
平成 27 年 11 月 15 日	～ 平成 29 年 3 月 5 日
	福岡県立美術館基本構想検討委員会開催（第 1 回～第 5 回）

平成 27 年 12 月 4 日	福岡県立美術館開館 30 周年記念「没後 40 年 高島野十郎展」開催
平成 28 年 2 月 15 日	空調設備改修工事のため臨時休館（～3 月 28 日）
平成 28 年 3 月	『福岡県立美術館コレクション・アルバム 1964-2014』を発行
平成 29 年 3 月	福岡県立美術館基本構想検討委員会報告
令和 元年 10 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 7 号）改正し、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
令和 元年 10 月 23 日	新・福岡県立美術館建設地選定委員会開催
令和 2 年 1 月 16 日	同委員会報告
令和 2 年 1 月 27 日	同委員会報告を受け、新・福岡県立美術館の建設地（大濠公園内）決定
令和 2 年 2 月 28 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～5 月 18 日）
令和 2 年 7 月 20 日	第 1 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 2 年 11 月 13 日	第 2 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 2 月 21 日	第 3 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 3 月 29 日	「どこでもケンピ」（福岡県立バーチャル美術館・edukenbi えでゅけんび）開設
令和 3 年 5 月 12 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～5 月 14 日） （5 月 15 日～6 月 20 日は部分開館）
令和 3 年 5 月 29 日	第 4 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 8 月 6 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～9 月 6 日） （9 月 7 日～9 月 12 日は部分開館）
令和 3 年 8 月 29 日	第 5 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 11 月 11 日	第 6 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 11 月 30 日	「新福岡県立美術館基本計画」策定
令和 4 年 11 月 28 日	「新福岡県立美術館整備事業基本設計プロポーザル」一次審査開催
令和 5 年 1 月 21 日	「新福岡県立美術館整備事業基本設計プロポーザル」二次審査開催 株式会社 隈研吾建築都市設計事務所が設計者に決定
令和 5 年 2 月 28 日	熱源改修工事のため臨時休館（～6 月 4 日）
令和 5 年 3 月 20 日	新福岡県立美術館基本設計費が 2 月県議会にて議決
令和 5 年 12 月 26 日	エレベーター改修工事のため臨時休館（～3 月 31 日）

令和5年度 展覧会事業一覧

◆コレクション展

展覧会名	開催期間 (開催日数)	主 催	入場者数 (人)
コレクション展 I 特集:ひろがる日本画	5. 6. 6～ 5. 8. 31 (76 日間)	福岡県立美術館	3,005

◆企画展

展覧会名	開催期間 (開催日数)	主 催	入場者数 (人)
生誕130年 児島善三郎展	5. 10. 7～5. 12. 10 (55 日間)	福岡県立美術館	5,532

◆共催展

展覧会名	開催期間 (開催日数)	主 催	入場者数 (人)
第78回福岡県美術展覧会「県展」	5. 9. 5～5. 10. 1 (24 日間)	福岡県美術展覧会 実行委員会	7,815
テレビシリーズ放送開始15周年記念 ひつじのショーン展	5. 10. 27～5. 12. 24 (51 日間)	ひつじのショーン展 福岡会場実行委員会	23,562
令和5年度 福岡県立美術館所蔵品巡回展 「移動美術館展」	5. 11. 3～5. 11. 26 (21 日間) <small>(須恵町:須恵町立美術センター久我記念館にて開催)</small>	令和5年度 福岡県立美術館所蔵品巡回展 「移動美術館展」実行委員会	1,033

令和5年度 月別入館者数一覧

月	常設展	企画展	共催展	貸館展	移動展 (須恵町)	イベント 講演会等	小計	美術 図書室	ビデオ ブース	ハイビジョン ギャラリー	カフェ テラス	小計	合計
4													
5													
6	826			4,782		38	5,646	194	70	240	434	938	6,584
7	1,019			2,274		110	3,403	242	91	492	469	1,294	4,697
8	1,160					6	1,166	270	106	198	359	933	2,099
9			7,332			269	7,601	285	109	411	793	1,598	9,199
10		1,772	2,148	9,307		238	13,465	298	96	294	784	1,472	14,937
11		2,463	10,719	2,292	1,033	409	16,916	425	130	624	890	2,069	18,985
12		1,297	11,178	1,847		40	14,362	249	53	546	686	1,534	15,896
1													
2													
3													
計	3,005	5,532	31,377	20,502	1,033	1,110	62,559	1,963	655	2,805	4,415	9,838	72,397

※ 美術館改修工事のため、令和5年4月1日から6月4日まで、12月26日から3月31日まで臨時休館。

コレクション展 I ひろがる日本画

◆会 期：令和5年6月6日(火)～8月31日(木) 76日間

◆休 館：月曜日（ただし、祝休日の場合はその翌平日）

※会期中展示替えあり

前期：6月6日（火）～7月17日（月・祝）／後期：7月19日（水）～8月31日（木）

◆会 場：4階展示室

◆観覧料：一般210(170)円、高大生140(110)円、小中生 無料

*（ ）内は20名以上の団体割引料金

*以下の方々を無料とした。

65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者、教職員が引率する高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部の生徒及びその引率者、土曜日来館の高校生以下の方

◆入場者数：3,005人

◆展覧会概要：

本展では、時代とともに多種多様にひろがっていく「日本画」に焦点を当て、掛け軸や巻物、屏風など、小さく折りたたみであるものを「ひろげる」という日本画の伝統的な形態の特徴や、表現としての「ひろがり」に着目して、「かたち」「画面」「表現」のテーマごとに展示を行った。

また、作品を鑑賞した方々に「日本画とは何か」ということが伝わるよう、分かりやすいパネル解説を心掛けるとともに、普段なかなか目にすることがない岩絵の具や膠等の画材も併せて展示し、日本画により親しんでいただけるような工夫を凝らした。

前年度同時期のコレクション展と同様、来場者の作品鑑賞の手助けとなるようワークシート「福岡県美パスポート」を2種類（ひらがな多め・漢字多め）配布した他、お気に入りの作品を選んでコメント投票できるコーナーを入口付近に設けた。数多くいただいたコメントの中には海外の方のコメントもあり、日本画の魅力が十分に伝わったことだけでなく、少しずつ美術館に活気が戻ってきたことを感じることが出来た展覧会となった。

*主な出品作家：今中素友、富田溪仙、横尾芳月、坂本繁二郎、山喜多二郎太、松枝玉記ほか

◆関連事業：

・ギャラリートーク（6/10（土）、7/1（土）、7/29（土）、8/26（土）計4回、参加者計21名）

◆作成印刷物：

・展覧会広報用ミニチラシ／出品リスト／出品作家解説／
ワークシート「福岡県美パスポート」（ひらがな多め・漢字多め）

◆記事・広報等：

・Instagram、X（旧Twitter）による広報

令和5年度福岡県立美術館コレクション展 I ひろがる日本画 出品作品リスト

会期:2023年6月6日(火)~8月31日(木) 前期:6月6日~7月17日(月・祝)/後期:7月19日(水)~8月31日(木)
10:00~18:00(最終入場17:30) 会場:福岡県立美術館 4階展示室

作家	作品名	制作年(和暦)	法量	素材・技法	特記事項
第一章 かたちひろがる日本画					
1 作者不詳	天媛画巻(七夕絵巻)	不詳	縦31.0cm	紙本着色	個人寄託 前後期場面替え
2 尾形喜六	大江山絵巻(酒吞童子絵巻)	制作年未詳	35×2139cm	紙本淡彩	原画作者は狩野元信 前後期場面替え
3 川辺御楯	東照公幼年読書図	制作年未詳	111.3×42.0cm	紙本着色	前期
4 川辺御楯	勿来関図	明治7-10年(1874-1877)頃	114.0×44.0cm	紙本着色	後期
5 今中素友	松溪白雲	大正7年(1918)	175.8×84.8cm	紙本着色	前期
6 入江之介	巖松飛泉	大正3年(1914)	143.8×51.8cm	紙本着色	後期
7 今中素友	鷺暮色	制作年未詳	46.0×129.0cm	紙本墨画	絶筆
8 衛藤良行	群鶴図	江戸時代後期	各162.5×361.8cm	紙本着色	
9 富田溪仙	琉球帖	大正6年(1917)	各26.0×37.8cm	紙本着色、墨書	前後期場面替え
第二章 画面ひろがる日本画					
10 水上泰生	山々の装ひ	大正6年(1917)	各172.0×373.0cm	絹本金地着色	第11回文展
11 島田美津	バスを待つ	平成4年(1992)	149.0×225.0cm	紙本着色	第24回改組日展
12 吉村忠夫	麻須良乎	昭和12年(1937)	163.0×163.5cm	紙本着色	第1回新文展
13 横尾芳月	茶々殿	昭和2年(1927)	220.0×237.0cm	紙本着色	第8回帝展
14 大田 歳	最端	昭和52年(1977)	153.8×216.0cm	紙本着色	第9回改組日展
15 箱崎睦昌	翠溪	平成2年(1990)	210.0×440.0cm	紙本着色	第7回横の会展
16 吉村誠司	遊園	平成4年(1992)	170.0×214.0cm	紙本着色	再興第77回院展(奨励賞) 個人寄託
第三章 表現ひろがる日本画					
17 森田秀樹	麈尾の道	平成3年(1991)	162.1×162.1cm	紙本着色	第43回京展(委嘱出品) 個人寄託
18 森田秀樹	雨	平成14年(2002)	91.0×117.0cm	紙本着色	第58回福岡県展(会員の部) 個人寄託
19 吉本尚二	社頭	昭和25年(1950)	119.4×93.0cm	紙本着色	第6回福岡県展
20 坂 宗一	あじさい	昭和45-64年(1970-1989)	68.4×45.5cm	紙本墨画着色	前期
21 坂 宗一	漁師	昭和45-64年(1970-1989)	68.4×45.5cm	紙本墨画着色	後期
22 坂本繁二郎	竹林	昭和10年(1935)頃	130.4×60.4cm	紙本墨画着色	個人寄託 前期
23 坂本繁二郎	牛	昭和10年(1935)頃	39.5×59.2cm	墨・紙	個人寄託 後期
24 井上三綱	養蚕寺の鐘	昭和39年(1964)	173.3×376.0cm	混合技法・画布	1967年個展(老番館画廊、東京)
25 児島善三郎	松、竹、梅	制作年未詳	各32.5×46.8cm	紙本墨画(「梅」のみ墨画淡彩)	
26 児島善三郎	東風	昭和14年(1939)	72.0×90.3cm	油彩・画布	第9回独立展 寄託作品
27 田崎廣助	朝顔	昭和4年(1929)	86.8×79.1cm	油彩・画布	第16回二科展
28 久野大正	石巢	昭和55年(1980)	208.0×55.0cm	紙本墨画	第15回如月会展 前期
29 久野大正	石貌	昭和57年(1982)	142.5×92.2cm	紙本墨画	第17回如月会展 後期
30 伊藤彰耳	ふるさとを思い出す 産山・大無田	平成9年(1997)	180×360cm	紙本着色	
31 山喜多二郎太	蘇州	制作年未詳	37.0×52.5cm	紙本墨画淡彩	前期
32 山喜多二郎太	農婦たち	制作年未詳	44.0×65.0cm	紙本墨画淡彩	前期
33 山喜多二郎太	野の仕事	制作年未詳	31.0×47.5cm	紙本墨画淡彩	後期
34 山喜多二郎太	夏の風	制作年未詳	48.7×71.5cm	紙本墨画淡彩	後期
35 山喜多二郎太	残雪	昭和38年(1963)	60.6×72.3cm	油彩・画布	第4回十科会展
36 上田宇三郎	水	昭和36-39年(1961-1964)	90.7×65.2cm	紙本墨画	前期
37 上田宇三郎	裸婦	昭和30年(1955)	93.0×72.2cm	紙本着色	1967年遺作展 前期
38 上田宇三郎	水	昭和36年(1961)	91.8×72.6cm	紙本墨画	後期
39 上田宇三郎	裸婦 鏡の前の立像	昭和28年(1953)	119.5×90.0cm	紙本着色	第6回朱翁社展 後期
小特集:ひろがるコレクション					
40 堂本印象	葡萄の園	制作年未詳	31.5×34.5cm	紙本着色	
41 堂本印象	観音	昭和38年(1963)頃	35.0×33.8cm	紙本着色	
42 小川幸一	赤い芽 No.1	平成23年(2011)	87.0×87.0cm	シルクスクリーン・紙	前期
43 小川幸一	赤い球体No.12	平成2年(1990)	65.0×90.0cm	シルクスクリーン・紙	1991年第19回「リゾ」国際版画ビエンナーレ(美術館賞) 後期
44 中村琢二	少女	昭和37年(1962)	116.0×81.0cm	油彩・画布	
45 中村琢二	婦人像	戦後期	53.0×45.5cm	油彩・画布	
46 早川朝洋	苗運び	昭和13年(1938)	高105×奥58×幅66cm	木彫	第2回新文展
47 小川規三郎	博多織帯「竹林」	平成22年(2010)	幅31.0cm	絹織物	第57回日本伝統工芸展
48 小川規三郎	七献上博多織帯	平成25年(2013)	幅31.0cm	絹織物	第60回日本伝統工芸展
49 小川規三郎	共色献上博多織帯	平成19年(2007)	幅31.0cm	絹織物	第54回日本伝統工芸展
50 松枝哲哉	久留米餅着尺「光韻」	平成28年(2016)	幅38.4cm	藍染綿織物	重要無形文化財久留米餅着尺作品展2016
51 松枝玉記	久留米餅着尺「風と光」	昭和46年(1971)	幅37.5cm	藍染綿織物	1974年第9回西部工芸展(「ぶどう文」)
52 松枝哲哉	久留米餅着物「驟雨」	昭和60年(1985)	身丈153.0、衿64.0cm	藍染綿織物	前期
53 松枝哲哉	久留米餅着物「筑後路・花火シリーズⅡ」	令和2年(2020)	身丈163.0、衿71.5cm	藍染綿織物	第54回日本伝統工芸染織展 後期
54 梅崎雲嶺	蓬萊朝陽図	昭和23年(1948)	181.0×91.0cm	紙本着色	前期
55 梅崎雲嶺	東波泛舟図	昭和4年(1929)	146.0×56.0cm	紙本墨画淡彩	前期
56 梅崎雲嶺	鐘道図	大正9年-昭和4年(1920-29)	131.0×59.0cm	紙本墨画	前期
57 梅崎雲嶺	山水図	昭和5-14年(1930-39)	135.0×68.0cm	紙本墨画	後期
58 梅崎雲嶺	萬仞雲峰図	昭和5-14年(1930-39)	143.0×60.0cm	紙本墨画	後期
59 梅崎雲嶺	達磨図	大正11年(1922)	142.0×79.0cm	紙本墨画淡彩	後期
60 福島善三	中野月白瓷壺	令和3年(2021)	径37.0、高25.0cm	陶器	第68回日本伝統工芸展
61 福島善三	中野青瓷螺鉢	令和4年(2022)	径47.3×42.1、高18.7cm	陶器	第56回西部伝統工芸展
62 福島善三	赫袖四方鉢	令和5年(2023)	高15.4、最大径54.5cm	陶器	
63 福島善三	赫袖鉢	令和5年(2023)	高16.5、口径41.0cm	陶器	
64 中村信喬	陶彫彩色「星河」	令和3年(2021)	高42.0cm	陶彫彩色	第68回日本伝統工芸展(日本工芸会奨励賞)
65 中村信喬	陶彫彩色「聖使」	令和4年(2022)	高36.0cm	陶彫彩色	
66 吉村忠夫	常夏	昭和10年代(1935-44)	36.3×52.3cm	紙本着色	
67 吉村忠夫	源氏物語 桐壺帝	昭和26年(1951)	39.0×44.8cm	紙本着色	
68 吉村忠夫	笛吹童子	昭和10年代(1935-44)	33.0×46.3cm	紙本着色	
69 吉村忠夫	志那十景 塩地廟	昭和25年(1950)	38.0×45.0cm	紙本着色	
70 吉村忠夫	模写「扇面古写経」	大正11年(1922)	24.5×48.5cm	紙本着色	
71 吉村忠夫	模写「絵因果経」	大正9年(1920)	26.5×28.3cm	紙本墨書、着色	
野見山暁治	忘れた日	令和4年(2022)	91.2×116.8cm	油彩・画布	特別展示 作家蔵

※特記のないものは福岡県立美術館の所蔵作品です。

生誕 130 年 児島善三郎展 キャンバスにこめた希望

◆会 期：令和 5 年 10 月 7 日（土）～令和 5 年 12 月 10 日（日） 55 日間

◆休 館：月曜日（ただし、祝休日の場合はその翌平日）

◆会 場：4 階展示室

◆観覧料：一般 800（600）円、高大生 500（300）円、小中生 無料

*65 歳以上の方は 600 円

*（ ）内は 20 名以上の団体割引料金

*以下の方々を無料とした。

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者、教職引率による高等学校・中等教育学校・特別支援学校の生徒及びその引率者、土曜日の高校生以下の方

◆主 催：福岡県立美術館

◆協 力：株式会社児嶋画廊 児嶋俊郎

◆助 成：公益財団法人 ポーラ美術振興財団

◆入場者数：5,532 人

◆展覧会概要：

本展は、昭和期の洋画界で大きな役割を果たした博多出身の洋画家・児島善三郎（1893-1962）の生誕 130 年の節目を記念する回顧展として開催した。

児島善三郎は、福岡県立中学修猷館（現・修猷館高等学校）を卒業したのち、画家を目指して上京。念願のフランス留学を果たした後は、1930 年に結成された独立美術協会のリーダーとして大きな役割を担った。独学ではありながら、西洋美術の模倣ではない「日本的油絵」とは何かということを常に考え、日本の伝統美術を踏まえた装飾的かつ大胆な表現と色彩からなるエネルギッシュな画風は、当時の日本の洋画壇に強いインパクトを与えた。

本展では、児島がキャンバスに込めた“希望”－絵描きとして生きることへの希望、永遠の美を探求することへの希望、描くことへのあくなき希望－をテーマに、会場を 6 章で構成し、渡欧以前に描かれた自画像などの初期作品や、ヨーロッパ留学のなかで手掛けた裸婦像や風景画のほか、戦後の代表作として名高い《春遠からじ》や《アルプスへの道》、そして画業の後半生に手掛けた《ミモザその他》などの豪華絢爛な花の作品など、計 90 点を展示した。

地元の新聞紙面やラジオなどでも反響が広がり、さらには一部の作品を撮影可能にしたことで、展覧会情報がお客様の感想とともに SNS によって広がり、結果として多くの方々にご来場いただくことができた。

◆関連事業：

(1) レクチャー

第 1 回「児島善三郎の生涯と芸術」

令和 5 年 11 月 4 日（土） 14:00～15:30

講師／高山百合（当館学芸員、本展担当）

第 2 回「児島善三郎の日本」

令和 5 年 11 月 18 日（土） 14:00～15:30

講師／西本匡伸（当館学芸員）

(2)担当学芸員によるギャラリートーク

- 第1回 令和5年10月7日(土) 14:00～15:00
- 第2回 令和5年10月21日(土) 14:00～15:00
- 第3回 令和5年12月9日(土) 14:00～15:00

◆作成印刷物等

- ・ 図録(A4変形、160ページ)
図録には年譜や文献一覧、作品リストのほか、下記の論文を収載：児嶋俊郎((株)児嶋画廊代表取締役)「絵と布の画廊歳時記 始末」、林田龍太(熊本県立美術館学芸普及課長)「理想と師と」、西本匡伸(福岡県立美術館学芸員)「児嶋善三郎の「新日本主義」をめぐって」、高山百合(福岡県立美術館学芸員)「キャンバスにこめた希望—児嶋善三郎の戦後の風景画をめぐって」
- ・ B2ポスター、A4両面チラシ、当日券、招待券、ポストカード
- ・ 正面玄関サイン、仮囲い用シートサイン、館内看板(タペストリー)2種、会場内パネル

◆記事・報道等

- ・ 渡辺亮一「児嶋善三郎 生誕130年展 ダイナミックな造形性と天性の色彩感覚が調和」『毎日新聞』2023年10月27日(金)、朝刊
- ・ 高山百合「新聞美術館～県美コレクションより 児嶋善三郎「蓮花」」『西日本新聞』2023年11月20日(月)、朝刊
- ・ 川口安子「児嶋善三郎生誕130年 絵に吹き込んだ命 コロナ禍にも通じる「希望」」『西日本新聞』2023年11月21日(火)、朝刊
- ・ 「生誕130年児嶋善三郎展 キャンバスに込めた希望」Our Culture Our View (Love FM)、2023年11月5日(日)・12日(日)10～11時(高山百合 出演)

作品リスト

List of Works

生誕130年 THE 130TH ANNIVERSARY
ZENZABURO KOJIMA EXHIBITION
児島善三郎展
2023年10月7日[土]—12月10日[日]

作品番号	作品名	制作年	技法	サイズ	所蔵
第1章 苦難と成長の青年時代—絵を描く喜び					
1	黒マントの自画像 Self-Portrait in a Black Cloak	大正3年(1914)	油彩・画布	53.2×45.6cm	久留米市美術館
2	初期風景(セザンヌ風) Landscape in Early Years (Cezanne-style)	大正3年(1914)	油彩・画布	50.2×61.2cm	個人蔵
3	早春の下板橋附近 Landscape of Shimoitabashi in Early Spring	大正10年(1921)、第8回二科展	油彩・画布	50.3×65.0cm	個人蔵
4	下板橋雪景 Snow Scene of Shimoitabashi	大正10年(1921)、第8回二科展	油彩・画布	45.5×53.3cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
5	早春の野を走る列車(板橋風景) Train running in the Field in Early Spring(Landscape of Itabashi)	大正10年頃(c.1921)、児島善三郎個展(1922)	油彩・画布	50.3×65.0cm	個人蔵
6	正子の像 Portrait of Masako	大正9年頃(c.1920)	油彩・画布	33.1×24.0cm	福岡県立美術館
7	義郎七歳の像 Portrait of Yoshiro at Seven	大正10年(1921)、児島善三郎個展(1922)	油彩・画布	61.2×46.1cm	個人蔵
8	姉の像 Portrait of Elder Sister	大正11年(1922)	油彩・画布	33.0×23.9cm	福岡県立美術館
9	青衣の母像 Mother in Blue Kimono	大正11年(1922)	油彩・画布	81.0×65.0cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
10	孔雀の扇を持つ裸婦 Nude with a Fan of Peacock Feather	大正11年頃(c.1922)	油彩・画布	97.3×162.2cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
11	福岡市展望 View of Fukuoka City	大正12年(1923)	油彩・画布	80.3×100.0cm	福岡市美術館
12	風景 Landscape	大正12年頃(c.1923)	油彩・画布	40.5×53.0cm	北九州市立美術館
13	風景 Landscape	大正13年(1924)	油彩・画布	50.0×60.5cm	個人蔵
第2章 憧れのヨーロッパ—希望に満ちた船出					
14	赤い屋根 Red Roofs	大正14-昭和3年(1925-28)	油彩・画布	52.5×64.5cm	福岡県立美術館
15	蘇鉄のある公園 A Park with Cyclades	大正14-昭和3年(1925-28)	油彩・画布	49.8×65.4cm	北九州市立美術館
16	少女 Girl	大正15年(1926)	油彩・画布	60.0×50.0cm	個人蔵
17	ロシヤの女 Russian Lady	大正15年(1926)	油彩・画布	78.5×63.2cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
18	梳る女 Combing Woman	大正15年(1926)、第15回二科展(1928)	油彩・画布	116.5×88.2cm	福岡県立美術館
19	黒い服 Woman wearing Black Clothes	昭和2年(1927)	油彩・画布	80.5×53.0cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
20	婦人像 Portrait of Woman	昭和2年(1927)	油彩・画布	53.0×45.5cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)

21	カテドラル・ド・ナント Cathedral in Nantes	昭和2年(1927)	油彩・画布	65.0×80.0cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
22	パリーの裏街 Back Street in Paris	昭和2年(1927)	油彩・画布	60.0×73.0cm	福岡県立美術館
23	運河 Canal	昭和3年(1928)	油彩・画布	52.0×64.0cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
24	青寝台の裸婦 Nude on a Green Couch	昭和3年(1928)	油彩・画布	130.0×163.0cm	個人蔵
25	鏡を持つ女 Woman Holding a Mirror	昭和3年(1928)、第15回二科展	油彩・画布	162.5×114.0cm	東京国立近代美術館
26	海老茶の帽子 Woman with Maroon Hat	昭和3年(1928)	油彩・画布	41.0×32.0cm	個人蔵

第3章 新時代の美術を確立する—独立美術協会の設立

27	スペイン装の高田せい子像 Portrait of Takada Seiko dressed in Spanish	昭和4年(1929)、第17回二科展(1930)	油彩・画布	161.7×96.8cm	北九州市立美術館
28	婦人像 Portrait of Woman	昭和3-5年(1928-30)	油彩・画布	45.5×33.3cm	個人蔵
29	五人の女 Five Women	昭和4年(1929)、第16回二科展	油彩・画布	139.0×162.5cm	久留米市美術館
30	独立美術首途(第二の誕生) Launching the Dokuritsu Bijutsu Kyokai (Second Birth)	昭和6年(1931)、第1回独立展	油彩・画布	162.0×129.5cm	横須賀美術館
31	サンルームの見える裸体 Nude and a View of the Sunroom	昭和6年(1931)、第2回独立展(1932)	油彩・画布	104.6×83.5cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
32	座したる女(裸体) Woman Sitting Back (Nude)	昭和7年(1932)、第2回独立展	油彩・画布	97.0×130.3cm	個人蔵
33	無衣の女 Nude Female	昭和7年(1932)、第2回独立展	油彩・画布	116.5×91.0cm	東京国立近代美術館
34	鏡 Mirror	昭和7年(1932)、第3回独立展(1933)	油彩・画布	162.0×97.1cm	福岡市美術館
35	老松 Old Pine Tree	昭和4-11年(1929-36)	油彩・画布	45.5×53.0cm	個人蔵
36	代々木の原 Field in Yoyogi	昭和9年(1934)、第5回独立展(1935)	油彩・画布	72.8×91.0cm	福岡県立美術館
37	松が枝 Pine Branches	昭和9年(1934)、第4回独立展	油彩・画布	60.0×72.0cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
38	初台風景 Landscape of Hatsudai	昭和10年頃(c.1935)	油彩・画布	44.5×64.5cm	福岡県立美術館

第4章 国分寺—風景との対話

39	犬吠埼にて At the Inubousaki Cape	昭和11年(1936)	油彩・画布	45.3×53.2cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
40	松 Pines	昭和11年(1936)	油彩・画布	23.6×53.0cm	個人蔵
41	松(天袋) Pine (Storage Space above a Closet)	昭和11年(1936)	紙本着色	各23.8×43.7cm	個人蔵
42	松(地袋) Pine (Storage Space under a Closet)	昭和11年(1936)	紙本着色	各57.5×42.0cm	個人蔵
43	春待つ田圃 Fields Waiting for Spring	昭和12年(1937)	油彩・画布	60.4×72.8cm	福岡市美術館

44	溪流 Mountain Stream	昭和12年(1937)、第7回独立展	油彩・画布	79.0×99.0cm	衆議院
45	炎天 Scorching Heat	昭和13年(1938)、児島善三郎近作展	油彩・画布	45.3×53.0cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
46	松籟 Rustling Pines	昭和13年(1938)、児島善三郎近作展	油彩・画布	60.4×45.4cm	個人蔵
47	庭の雨 Rainy Garden	昭和13年(1938)	油彩・画布	45.5×53.0cm	個人蔵
48	松と稲 Pines and Rice Paddies	昭和13年(1938)	油彩・画布	45.5×53.0cm	個人蔵
49	箱根 Hakone	昭和13年頃(c.1938)	油彩・画布	88.8×105.5cm	福岡県立美術館
50	蓮花 Lotus Flowers	昭和14年(1939)、第9回独立展	油彩・画布	143.5×110.5cm	福岡県立美術館
51	東風 East Wind	昭和14年(1939)、第9回独立展	油彩・画布	72.0×90.3cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
52	蘆ノ湖 Lake Ashi	昭和15年頃(c.1940)	油彩・画布	44.0×52.0cm	個人蔵
53	虞美人草 Field Poppies	昭和15年頃(c.1940)	油彩・画布	53.2×45.5cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
54	菖蒲 Japanese Iris	昭和16-21年(1941-46)	油彩・画布	53.0×45.5cm	冷泉閣ホテル
55	櫛田神社 Kushida Shrine	制作年不詳	水彩・墨・紙	45.5×48.5cm	個人蔵
56	太宰府 Dazaifu	昭和20年頃(c.1945)	墨・紙	45.8×48.0cm	個人蔵
57	太宰府 Dazaifu	昭和20年頃(c.1945)	水彩・墨・紙	45.5×48.7cm	個人蔵
58	太宰府 Dazaifu	昭和20年頃(c.1945)	水彩・墨・紙	43.2×59.1cm	個人蔵
59	原鶴温泉 Harazuru Hot Spring	昭和18年(1943)	墨・紙	42.6×48.0cm	個人蔵
60	筑紫風景 Landscape of Chikushi	制作年不詳	岩絵具、墨・紙	30.0×95.5cm	個人蔵

第5章 キャンバスにこめた希望—「不滅の美」の探求

61	自画像 Self-Portrait	昭和20年頃(c.1945)	油彩・画布	52.8×45.5cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
62	風景 Landscape	昭和13年頃(c.1938)	油彩・画布	22.5×53.0cm	個人蔵
63	田園の春 Spring Fields	昭和15年(1940)	油彩・画布	45.3×53.0cm	個人蔵
64	国分寺雪景 Kokubunji in the Snow	昭和17年(1942)	油彩・画布	45.5×53.0cm	個人蔵
65	国分寺風景(雪) Landscape of Kokubunji (Snow)	昭和22年(1947)、第15回独立展	油彩・画布	45.8×53.0cm	個人蔵
66	満開 In Full Bloom	昭和23年(1948)、第2回美術団体連合展	油彩・画布	60.5×73.0cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
67	風景(桜) Landscape (Cherry Blossoms)	昭和23年頃(c.1948)	油彩・画布	79.0×63.5cm	直方谷尾美術館

68	静物 Still Life	昭和24年(1949)、第17回独立展	油彩・画布	65.5×80.5cm	東京国立近代美術館
69	静物 Still Life	昭和24年(1949)、第17回独立展	油彩・画布	61.0×73.0cm	福岡県立美術館
70	春遠からじ Spring not far off	昭和25年(1950)、第4回美術団体連合展	油彩・画布	72.7×90.5cm	個人蔵
71	秋霽 Clear Autumn	昭和26年(1951)、第3回日本アンデパンダン展	油彩・画布	72.7×90.9cm	北九州市立美術館
72	初夏 Early Summer	昭和26年(1951)、児島善三郎自選展(1959)	油彩・画布	46.1×65.3cm	個人蔵
73	アルプス Japanese Alps	昭和26年(1951)、児島善三郎自選展(1959)	油彩・画布	45.5×53.0cm	個人蔵
74	アルプスへの道 Route to the Japanese Alps	昭和26年(1951)、第19回独立展	油彩・画布	73.0×91.0cm	東京国立近代美術館
75	立雲 Billowing Clouds	昭和28年(1953)、第21回独立展	油彩・画布	46.0×52.0cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
76	磯犬吠埼 Shore of Inubousaki Cape	昭和29年(1954)	油彩・画布	45.5×52.8cm	横須賀美術館

第6章 咲き誇る花々—生きることへの希望

77	ダリア Dahlias	昭和15年頃(c.1940)	油彩・画布	72.9×60.7cm	福岡市美術館
78	菊 Chrysanthemums	昭和27年頃(c.1952)	油彩・画布	65.5×50.0cm	直方谷尾美術館
79	アネモネ Anemones	昭和27年頃(c.1952)	油彩・画布	38.0×45.5cm	個人蔵
80	女と花 Woman and Flowers	昭和30年(1955)、第23回独立展	油彩・画布	80.5×65.3cm	福岡市美術館
81	百合とカーネーションその他 Lilies and Carnations	昭和30年(1955)	油彩・画布	53.0×46.0cm	個人蔵
82	雪柳と海芋に波斯の壺 Spiraea and Callas in Persian Vase	昭和31年(1956)、第2回現代日本美術展	油彩・画布	80.5×65.5cm	東京国立近代美術館
83	ダリア Dahlias	昭和31年(1956)	油彩・画布	53.0×45.5cm	個人蔵
84	ミモザその他 Mimosa Arrangement	昭和32年(1957)、第13回福岡県美術展	油彩・画布	91.2×73.1cm	久留米市美術館
85	バラ(赤絵の壺にバラ) Roses (Roses in a Red Painted Vase)	昭和35年(1960)	油彩・画布	52.0×44.0cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
86	李朝の壺と薔薇 Roses in Choson Dynasty Porcelain	昭和35年(1960)、児島善三郎新作展	油彩・画布	53.0×45.5cm	個人蔵
87	紅衣 Red Dress	昭和35年(1960)、第3回国際具象派美術展	油彩・画布	91.2×60.7cm	北九州市立美術館
88	熱海 Atami	昭和35年頃(c.1960)	油彩・画布	45.5×53.0cm	個人蔵
89	早春(梅) Early Spring (Plums)	昭和35年(1960)、児島善三郎新作展	油彩・画布	45.0×53.0cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
90	花(絶筆) Flowers (Last Work)	昭和37年(1962)	油彩・画布	53.0×45.5cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)

第78回福岡県美術展覧会（県展）

◆主催：福岡県美術展覧会実行委員会（福岡県立美術館、公益社団法人福岡県美術協会、西日本新聞社）

◆後援：福岡市、福岡市教育委員会ほか

◆協賛：株式会社岩田屋三越、ASOポップカルチャー専門学校、久原本家グループほか

◆会場・会期

県展（福岡県立美術館） 令和5年 9月 5日（火） ～10月1日（日） 24日間

<巡回展>

筑後展（大牟田文化会館） 10月 8日（日） ～10月14日（土） 6日間

筑豊展（嘉麻市立織田廣喜美術館） 10月18日（水） ～11月 5日（日） 15日間

宗像展（宗像ユリックス） 11月 7日（火） ～11月19日（日） 12日間

北九州展（北九州市立美術館） 11月22日（水） ～11月26日（日） 5日間

◆入場料：一般 400円

（県展） 高大生 200円

小中生 無料

◆入場者数：7,815人（県展）、3,620人（巡回展）

◆開催趣旨

県民から広く作品を募集し、その優れた成果を展示することで、創造意欲を高め、美術を通じた豊かな生き方を支援する。あわせて、福岡県美術協会会員の作品を展示し、福岡県における美術活動のより一層の充実を目指す。

◆審査員

日本画／倉橋 協子、田籠 由美子、古野 靖弘、松本 由美子、岡村 桂三郎（台風のため欠席）

洋画／坂口 寛敏、阿部 健太、酒井 忠臣、津國 進、中村 俊雅

彫刻／林 武史、高野 直幸、知足院 美加子、灰塚 みゆき、湯之原 淳

工芸／赤沼 潔、外館 和子、梅林 保乃、太田 剛速、津留崎 順子、藤本 健一朗

書／劉 作勝、財前 謙、呂 軍、今津 瑠美子、鶴 亀山、川波 猗嶂、工藤 崇峰、

小柳 少鼎、師村 妙石

写真／蜂須賀 秀紀、角 和典、関 智恵子、毛上 紀子、山崎 政男

デザイン／福島 治、江頭 一博、佐土嶋 文香、田邊 幹夫、山根 修平

◆図録

A4版80頁

<内容> 図版

出品目録（公募の部、会員の部）

選後感

出品数・入選数一覧（公募の部）

◆関連事業

<オープニングセレモニー>

9月5日（火）福岡県立美術館 2階ハイビジョン前
各部門県知事賞受賞者によるテープカット及び受賞作品解説を実施。

<合評会>

県展各会期最終日に、県美術協会審査員による部門ごとの合評会を実施。

<表彰式>

10月1日（日）福岡リーセントホテル 2階舞鶴の間

◆関連記事

<入選・入賞掲載記事>

西日本新聞、朝日新聞、毎日新聞

<県展開幕>

西日本新聞社

◆事業の概要

県展会期：令和5年9月5日（火）～令和5年10月1日（日） [24日間]

会 期	開 催 期 間	部 門	入 場 者 数		
			総 数	有 料	無 料
1 期	9月5日～9月10日	彫刻・写真	1,943	611	1,332
2 期	9月12日～9月18日	日本画・工芸・デザイン	1,757	800	957
3 期	9月20日～9月24日	洋画	2,131	974	1,157
4 期	9月26日～10月1日	書	1,984	571	1,413
合 計			7,815	2,956	4,859

県展出品数・展示数

公 募 の 部				
部 門	出 品 数	出 品 者 数	展 示 数	
日 本 画	75	73	55	
洋 画	444	356	213	
彫 刻	39	36	26	
工 芸	161	140	110	
書	漢 字	486	-	291
	か な	244	-	146
	てん 刻	59	-	35
	調 和 体	84	-	50
	小 計	873	815	522
写 真	664	471	285	
デ ザ イン	185	178	96	
合 計	2,441	2,069	1,307	

会 員 の 部
出 品 数
47
163
34
41
202
74
22
583

テレビシリーズ放送開始 15 周年記念 ひつじのショーン展

- ◆ 主催 ひつじのショーン展福岡会場実行委員会
(福岡県立美術館、九州朝日放送、東映)
- ◆ 後援 ブリティッシュ・カウンシル、福岡県、福岡市、福岡市教育委員会
- ◆ 特別協力 アードマン・アニメーションズ
- ◆ 協力 東北新社
- ◆ 企画協力 東映
- ◆ 会期 令和5年10月27日(金)～12月24日(日) 51日間
月曜休館
午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)
- ◆ 会場 3階展示室1～3号室
- ◆ 入場料 一般 1,500円 (1,300円)
高大生 1,000円 (800円)
4歳～小中生 500円 (300円)
※ 上記()内は前売り
※ 3歳以下入場無料
※ 小学生以下保護者同伴必要
※ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1名、特定疾患医療受給者証・特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方は無料
- ◆ 入場者数 23,562人
- ◆ 開催趣旨
「ひつじのショーン」はアードマン・アニメーションズによる、2007年より放送がスタートしたテレビシリーズである。本展は「ひつじのショーン」テレビシリーズ放送開始15周年を記念し、撮影やプロモーション用に制作されたパペット(人形)やセット、ストーリーボードなどの資料とともに「ひつじのショーン」ができあがるまでの制作過程や「ひつじのショーン」の世界の舞台裏を初公開の資料と共に紹介する内容とした。
- ◆ イベント等
 - プレスツアー
 - ① 日時:10月26日(木)15:00～17:00
 - ② 場所:福岡県立美術館 3階展示室
 - ③ 参加:新聞社、テレビ局等 計6社9名
 - 開会式
 - ① 日時:10月27日(金)9:40～10:00
 - ② 場所:福岡県立美術館 2階ハイビジョン前(テーブルカット:2階踊り場)
 - ③ 出席者:福岡県議会文教委員会委員長 笠和彦
福岡県教育委員会教育長 吉田法稔 他
 - ワークショップ「モールでひつじのショーンをつくろう！」
 - ① 場所:福岡県立美術館 4階視聴覚室
 - ② 材料費:500円(要入場券、人数制限あり)
 - ③ 講師:中島由実子(福岡県立美術館学芸員)
 - ④ 日時:11月3日(金・祝)文化の日 第1部10:30～12:00 第2部14:00～15:30
 - ⑤ 参加者:第1部17名(同行者6名) 第2部20名(同行者16名) 計37名(同行者22名)

● アクロス・ミュージアムコンサート in 県美

- ① 場 所：福岡県立美術館 2階ロビー
- ② 参加費：無料（申込不要、人数制限あり）
- ③ 日 時：11月25日（土）第1部 13:30～14:00、第2部：15:00～15:30
- ④ 演 者：＜ヴァイオリン＞木村美宇、新戸琳子 ＜ピアノ＞梶原美依
- ⑤ 参加者：第1部：105名、第2部：109名 計214名

● その他

- ① 先着プレゼント
物販会場で税込3,000円以上お買上げの方に先着1,000名にペーパークラフトをプレゼント
- ② フォトスポットの設置
撮影可能な作品を展示室後半に設置し、自由に撮影してSNS投稿などを呼びかけた

◆主要広報実績

- ・KBCテレビ「Catch」2023年9月3日
- ・FM福岡「福岡だより」福岡県からのお知らせ2023年10月2日
- ・KBCテレビ「シリタカ！」天気コーナー2023年10月26日（中継）出演：中島由美子
- ・KBCテレビ KBC ニュース2023年10月27日
- ・KBCテレビ「Catch」2023年10月29日
- ・KBCテレビ「アサデス。」内ニュース2023年10月30日
- ・KBCテレビ「アサデス。」プレゼント2023年11月16日
- ・KBCテレビ「Catch」2023年11月19日
- ・FM福岡「福岡だより」福岡県からのお知らせ2023年12月7日
- ・KBCラジオ「PA0～N」2023年12月8日（中継）出演：中島由美子
- ・FBSテレビ「優&舞の知っトク！ふくおか」2023年12月23日

※ 作品リストを作成していないため添付していない。

令和5年度 須恵町町制施行70周年記念事業・福岡県立美術館所蔵品巡回展

アート、すえひろがり。

- ◆会 期：令和5年11月3日（金・祝）～11月26日（日） 21日間
- ◆休 館：月曜日（ただし、11月15日（水）は12時で閉館、午後休館）
- ◆会 場：須恵町立美術センター久我記念館
- ◆観覧料：一般210円（170円）、高校生以下 無料
 - *（ ）内は20名以上の団体割引料金
 - *高校生以下、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介助者は無料
- ◆主 催：令和5年度福岡県立美術館所蔵品巡回展「移動美術館展」実行委員会（須恵町、須恵町教育委員会、福岡県立美術館）
- ◆共 催：公益財団法人福岡県教育文化奨学財団
- ◆後 援：須恵町文化協会、糟屋地区社会教育振興会
- ◆入場者数：1,033人
- ◆展覧会概要：

平成7年度に開館10周年を記念し、所蔵品巡回展「移動美術館展」を開催して以降、県立美術館が長年収集してきた美術作品の中から福岡県にゆかりの深い近現代の洋画、日本画、工芸、彫刻の作品を県下各地で紹介してきた。平成18年度からは、趣旨を新たに「ファーストステップとしての美術館」と設定し、従来の名品紹介に加え、子どもたちにも親しみやすい展覧会づくりを実現してきた。

令和5年度は須恵町の町制70周年を記念して、故・久我五千男氏の私設美術館であった現・須恵町立美術センター久我記念館で開催した。開催は20年ぶり二度目であり、須恵町が眼科宿場として栄えた歴史を鑑み、訪れた人々が美術を「見ること」を起点に鑑賞するよろこびや対話する楽しみを実感し、興味関心が思い思いに広がっていくようにと、サブタイトルを「アート、すえひろがり。」とした。

美術を「見ること」をテーマに、会場を「遠くをながめる」「過去と未来をつなぐもの」「ものを見つめる」の3つの章で構成し、青木繁、坂本繁二郎、高島野十郎などの当館所蔵の名画のみならず、久我氏旧蔵の須恵焼をはじめとした九州古陶磁の62作品、及び須恵町の須恵焼コレクションとともに計77点を紹介した。

町制施行70周年に相応しく、様々なイベントを盛り込んだ大変賑やかな展覧会となり、近隣地域からも数多くの人々に来場いただくことができた。

◆関連事業

(1) 開会式・ギャラリートーク

日時：11月3日（金・祝） 9:45～

ギャラリートーク 参加者：30名

講師：岡部るい（福岡県立美術館学芸員）

山下啓之（須恵町教育委員会社会教育課）

(2) ギャラリートーク

日時：11月4日(土) 14:00～ 参加者：7名 / 11月19日(日) 14:00～ 参加者：15名
講師：岡部るい(福岡県立美術館学芸員)
山下啓之(須恵町教育委員会社会教育課)

(3) コンサート

日時：11月5日(日) ①11:00～ / ②14:00～ 参加者：計85名
演奏者：ドラム馬頭琴楽団

(4) [糟屋区内小・中学校、義務教育学校教員対象]

「移動美術館展」を活用した鑑賞教育入門講座

日時：11月15日(水) 15:30～16:50 参加者：23名

講師：高橋大輔(福岡県立美術館指導主事)、岡部るい(福岡県立美術館学芸員)

(5) 須恵焼窯跡ウォーキング

日時：11月18日(土) 13:30～ 参加者：7名

講師：山下啓之(須恵町教育委員会社会教育課)

(6) 布絵本の読み聞かせ会(布絵本グループ「杉の子」)

日時：11月19日(日) 11:00～ 参加者：8名

(7) 美術部の練習試合

日時：11月23日(木・祝)

参加校：須恵中学校 10名、須恵東中学校 8名、古賀北中学校 11名、篠栗中学校 6名 計35名

案内人：坂崎隆一(現代美術家)

※ワークショップ「作品みるみるプロジェクト」(11月4日(火)、18日(土)、25日(土))は参加者なし。

◆学校団体鑑賞：

- ・11月14日(火) 須恵第一小学校 5年生 125名
- ・11月17日(金) 須恵中学校 特別支援学級 51名
- ・11月22日(水) 須恵東中学校 特別支援学級 24名

◆作成印刷物：

- ・B2ポスター、A4両面チラシ、チケット、ブックマーク(3種)、出品リスト、ワークシート「作品みるみるワークシート」

◆記事・報道等

- ・KBC「アサデス」にて数回放送(朝5時台)
- ・ケーブルステーション福岡にて放送
- ・須恵町での広報(ホームページ等の記事掲載)

令和5年度 須恵町町制施行70周年記念事業・福岡県立美術館所蔵品巡回展 出品作品リスト

会期:2023年11月3日(金・祝)~26日(日) 月曜日休館(11月15日(水)は12時閉館、午後休館) 10:00~17:00(最終入場16:30)
会場:須恵町立美術センター久我記念館 糟屋郡須恵町須恵77-1

作家名/陶磁器は産地	生没年	作品名	制作年(和暦)	素材・技法	所蔵元		
1 青木 繁	あおきしげる	1882-1991	わだつみのいるこの宮(下絵)	わだつみのいるこのみや(したえ)	明治40年	油彩・板	福岡県立美術館蔵
2 坂本繁二郎	さかもとはんじろう	1882-1969	放牧場	ほうぼくじょう	明治42年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
3 庄野伊甫	しょうのいほ	1876-1958	笛の音	ふえのね	明治40年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
4 吉田 博	よしだひろし	1876-1950	穂高の春	ほだかのはる	大正4年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
5 中村琢二	なかもらたくじ	1897-1988	西伊豆	にしいず	昭和62年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
6 野見山暁治	のみやまぎょうじ	1920-2023	廃坑(A)	はいこう(A)	昭和26年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
7 阿部金剛	あべこんごう	1900-1968	Rien No.1	りあんなんばー1	昭和4年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
8 古賀春江	こがはるえ	1895-1933	窓	まど	昭和2年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
9 田淵安一	たぶちやすかず	1921-2009	曼華迷路	まんげめいろ	昭和60年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
10 野見山暁治	のみやまぎょうじ	1920-2023	蔵王	ざおう	昭和41年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
11 赤星信子	あかほしのぶこ	1914-2015	赤い構図	あかいこうず	昭和49年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
12 倉島岱山	くらしまたいざん	1951-	白瓷輪花大鉢	はくじりんかおおばち	平成2年	磁器	福岡県立美術館蔵
13 高島野十郎	たかしまやじゅうろう	1890-1975	秋	あき	昭和32年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
14 高島野十郎	たかしまやじゅうろう	1890-1975	壺とりんご	つぼとりんご	昭和10年代頃	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
15 児島善三郎	こじまぜんざぶろう	1893-1962	小菊	こぎく	昭和24年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
16 児島善三郎	こじまぜんざぶろう	1893-1962	アネモネ	あねもね	昭和24年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
17 赤星 孝	あかほしたかし	1912-1983	赤の静物	あかのせいぶつ	昭和24年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
18 石橋美三郎	いしばしみさぶろう	1893-1968	子供(雪雄の像)	子供(雪雄の像)	昭和4年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
19 藤田吉香	ふじたよしか	1929-1999	手のある静物	てのあるせいぶつ	平成5年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
20 高島野十郎	たかしまやじゅうろう	1890-1975	ティーポットのある静物	ていーぽっとのあるせいぶつ	昭和23年以降	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
21 江上茂雄	えがみしげお	1912-2014	赤の玩具	あかのがんぐ	昭和43-44年頃	クレヨン・紙	福岡県立美術館蔵
22 鹿兒島寿蔵	かごしまじゅぞう	1898-1982	紙型人形「鹿島の宮の春の宴」	しそにぎょう「かしまのみやのはるのうたげ」	昭和51年	紙型、自染和紙	福岡県立美術館蔵
23 吉村忠夫	よむらただお	1898-1952	天平美人図	てんぴょうびじんず	制作年未詳	絹本着色	福岡県立美術館蔵
24 鹿兒島寿蔵	かごしまじゅぞう	1898-1982	紙型人形「佐保比売歌ふ」	しそにぎょう「さほひめうたう」	昭和35年	紙型、自染和紙	福岡県立美術館蔵
25 柏崎米助	かしわざきえいすけ	1910-1986	色漆手箱1	いろうるしてばこ1	昭和9~17年	木胎漆塗	福岡県立美術館蔵
26 高島野十郎	たかしまやじゅうろう	1890-1975	蠟燭	ろうそく	不詳	油彩・板	福岡県立美術館蔵
27 須恵	すえ		呉須菱馬図水指	ごす ひしうます みずさし	天明年間	磁器	福岡県立美術館蔵
28 片山攝三	かたやませつぞう	1914-2005	富永朝堂 白鷺	とみながちょうどう しらさぎ	昭和49年頃	モノクローム・プリント	福岡県立美術館蔵
29 富永朝堂	とみながちょうどう	1897-1987	鷺	さぎ	昭和26年	木彫・着色(胡粉、一部)	福岡県立美術館蔵
30 坂本繁二郎	さかもとはんじろう	1882-1969	能面	のうめん	昭和30年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
31 四夷星乃	しいほしの	1901-1965	K氏の像	K氏のぞう	昭和32年	絹本着色	福岡県立美術館蔵
32 津高一	つたかわけい	1911-1995	羊形石板の印象による	ひつじがた せきばんの いんしょうによる	昭和50年	油彩・画布	福岡県立美術館蔵
33 有田	ありた		色絵松竹梅文輪花鉢	いろえ しょうちくばいもん りんかばち	江戸中期(17世紀末~18世紀)	磁器	福岡県立美術館蔵
34 亀山	かめやま		染付草花文四方水指	そめつけ そうかもん よほう みずさし	江戸後期	磁器	福岡県立美術館蔵
35 鍋島	なべしま		色絵蔓蓍薇文皿	いろえ つるばらもん ざら	江戸末期	磁器	福岡県立美術館蔵
36 須恵	すえ		染付秋草文金鏤珈琲一揃	そめつけ あきくさもん きんざびもん こーひーひとそろえ	明治期	磁器	久我記念館蔵
37 平戸	ひらど		瑠璃釉獅子香炉	るりゆうししがた こうろ	天保頃	磁器	福岡県立美術館蔵
38 須恵	すえ		染付牡丹文蓋付鉢	そめつけ ぼたんもん ふたつきはち	江戸後期~明治初期	磁器	個人蔵
39 須恵	すえ		染付山水文金鏤花生	そめつけ さんすいもん きんざび はないけ	明治22年	磁器	個人蔵
40 須恵	すえ		染付祥瑞丸文蜜柑形共蓋水指	そめつけ しょうずいまるもん みかんがた ともふた みずさし	江戸後期~明治初期	磁器	久我記念館蔵
41 柿右衛門	かきえもん		色絵草唐龍文陶板	いろえ からくさりゆうもん とうばん	延宝年間	磁器	福岡県立美術館蔵
42 八代	やつしろ		象嵌馬文菱形水指	ぞうがん うまもん ひしがた みずさし	江戸後期~明治初期	陶器	福岡県立美術館蔵
43 唐津	からつ		刷毛目白釉茶碗	はけめ ばくゆうちゃわん	江戸末期	陶器	福岡県立美術館蔵
44 小代	しょうだい		灰釉編籠形水指	かいゆうあみかごがた みずさし	近代	陶器	福岡県立美術館蔵
45 柳原	やなぎはら		海軍釉木瓜形入水指	なまこゆうもっこうがたくり みずさし	19世紀前半	陶器	福岡県立美術館蔵
46 須恵	すえ		染付牡丹文手焙	そめつけ ぼたんもん てあぶり	江戸末期~明治初期	磁器	個人蔵
47 須恵	すえ		染付桐鳳凰文手焙	そめつけ きりほうおうもん てあぶり	江戸末期~明治初期	磁器	久我記念館蔵
48 須恵	すえ		染付金鏤雲竜文風炉	そめつけ きんざびゆうりゆうもん ふろ	明治期	磁器	久我記念館蔵
49 田香	でんこう		象嵌雲鶴文砂金袋水指	ぞうがん うんかくもん さきんぶくろ みずさし	19世紀	陶器	福岡県立美術館蔵
50 宗七	そうしち		炭形涼炉	すみがたりょうろ	江戸後期	瓦器	福岡県立美術館蔵
51 須恵	すえ		染付人物図花瓶	そめつけ じんぶつづ かびん	江戸末期~明治初期	磁器	久我記念館蔵
52 朝妻	あさつま		色絵菊花文深鉢	いろえ きくかもん ふかばち	18世紀前半	磁器	福岡県立美術館蔵
53 東野亭	とうやてい		灰釉下蕪形花生	かいゆうしもがらがた はないけ	江戸末期	陶器	福岡県立美術館蔵
54 須恵	すえ		染付菊花文算盤玉形花入	そめつけ きくかもん そろばんたまがた はないけ	江戸末期~明治初期	磁器	久我記念館蔵
55 高取	たかとり		双耳茶壺	そうじ ちゃつぼ	制作年不詳	陶器	福岡県立美術館蔵
56 星野	ほしの		三耳付葉茶壺銘波文	さんじつき はちやつぼめい はもん	江戸後期	陶器	福岡県立美術館蔵
57 須恵	すえ		白磁立鼓花生	はくじりゆうこ はなたて	江戸末期	磁器	福岡県立美術館蔵
58 上野	あがの		灰釉花生	かいゆう はないけ	江戸後期	陶器	福岡県立美術館蔵
59 須恵	すえ		染付金鏤沈香壺	そめつけ きんざび じんこうつぼ	明治期	磁器	久我記念館蔵
60 朝田	あさだ		染付吉夢園徳利	そめつけ きんむづとく	天保年間	磁器	福岡県立美術館蔵
61 薩摩	さつま		色絵牡丹菊花文瓶	いろえ ぼたんきくもん びん	明治期	磁器	福岡県立美術館蔵
62 波佐見	はさみ		染付コンブラ瓶	そめつけ こんぶら びん	江戸後期	磁器	福岡県立美術館蔵
63 須恵	すえ		染付藤巴文酒注	そめつけ ふじともえもん さけつぎ	江戸後期	磁器	久我記念館蔵
64 須恵	すえ		染付鯉魚文金鏤酒注	そめつけ けつぎよもん きんざび さけつぎ	明治22年	磁器	個人蔵
65 小石原	こいしわら		流掛釉瓢形徳利	ながしかけゆう ひさごがた とくり	江戸後期	陶器	福岡県立美術館蔵
66 須恵	すえ		金鏤瓢形徳利	きんざび ひさごがた とくり	明治期	磁器	福岡県立美術館蔵
67 赤坂	あかさか		梅竹文徳利	ばいちくもん とくり	江戸末期~明治期	陶器	福岡県立美術館蔵
68 二川	ふたがわ		二彩松文壺	にさい まつもん つぼ	明治期	陶器	福岡県立美術館蔵
69 須恵	すえ		染付梅鶴文仏花器	そめつけ うめうづいすもん ぶつかき	天明4年	磁器	個人蔵
70 須恵	すえ		染付松竹梅文水注	そめつけ しょうちくばいもん みずつぎ	江戸末期~明治期	磁器	福岡県立美術館蔵
71 須恵	すえ		染付秋草文鉢	そめつけ あきくさもん はち	江戸末期~明治期	磁器	福岡県立美術館蔵
72 須恵	すえ		染付山王宮御供鉢	そめつけ さんのうぐう おそなえはち	明治3年	磁器	個人蔵
73 須恵	すえ		染付蟹藻文蓮葉形皿	そめつけ かにそうもん はすはがた さら	江戸末期~明治初期	磁器	福岡県立美術館蔵
74 須恵	すえ		染付松竹丹文蓋物	そめつけ まつぼたんもん ふたもの	江戸末期~明治初期	磁器	久我記念館蔵
75 須恵	すえ		染付牡丹文蓋物	そめつけ ぼたんもん ふたもの	(虎図) 弘化3年	磁器	福岡県立美術館蔵
76 須恵	すえ		染付寿老人図皿	そめつけ じゅうろうじんず さら	江戸末期~明治期	磁器	福岡県立美術館蔵
77 須恵	すえ		染付寿老人図火鉢	そめつけ じゅうろうじんず ひばち	江戸末期~明治期	磁器	福岡県立美術館蔵

網掛け部は久我五千男氏旧蔵コレクション

貸館事業

県内の美術家や美術団体などに、作品発表の場として、展示室（1～4）、彫刻展示室、視聴覚室の使用を許可。詳細は令和5年度展示施設（貸館等）使用状況及び令和5年度展示施設使用者一覧のとおり。

◆受付期間： 4月末まで ……その年度の後半（10月～翌年3月 ※令和5年度後半は12月まで）
10月末まで ……次の年度の前半（翌年4月～9月）

◆使用料：（展示開始の日から展示終了の日まで1日につき）

展示室	面積	無料展	有料展
展示室1	298㎡	7,310円	11,030円
展示室2	198㎡	4,960円	7,440円
展示室3	189㎡	4,710円	7,060円
展示室4	131㎡	3,090円	4,710円
彫刻展示室	147㎡	3,710円	5,580円
視聴覚室	87㎡（50席）	午前9時～12時 3,710円 午後1時～6時 6,200円	

※貸館は原則として1週間単位。（6日間）

◆利用方法

○申込み

所定の様式にて、普及課へ申請。

○貸館の決定

4月までの申込分は5月中・下旬に、10月までの申込分は11月中・下旬に通知。

○使用料納付

展示室等利用の2週間前までに納付書を送付。納期限までに納入。

○展示作業

- ・使用許可証に記載してある時間帯で実施。（9時～17時）
- ・係員の指示に従い展示。

○展示期間中

- ・受付の配置。（9時50分から18時まで）
- ・10時に開室し18時に閉室。
- ・花輪・生花等の飾りは原則として認めない。
- ・日毎の入場者数を記録、問題点は普及課へ連絡。
- ・主催者控室を利用の場合は、監視室にて鍵の受け渡しを行う。

○撤去作業

- ・使用許可証に記載してある時間帯で実施。（18時～20時）
- ・展覧会開始日の3週間前までに「搬出撤去に係る閉室時間繰り上げ申請書」を提出することにより、通常18時の搬出撤去日の閉室時間を15時まで繰り上げ可能。
- ・係員の指示に従い撤去。使用した用具を返却。
- ・終了時、係員の点検を受けた後、報告書を提出。

◆展示室の使用許可基準（令和6年3月14日〔原則〕、〔許可の条件〕一部改訂）

〔原則〕

- (1) 当館が主催、あるいは共催する展覧会を優先する。
- (2) 当館が主催展、あるいは共催展の実施に支障のない範囲で、展示室の使用を許可する。
- (3) 展覧会の内容が次の各号のいずれかに該当する場合、展示室の使用を許可しない。
 - ①法令に違反するもの又はそのおそれのあるもの
 - ②公序良俗に反するもの又はそのおそれのあるもの
 - ③人権侵害となるもの又はそのおそれのあるもの
 - ④その他内容について選考委員会が不適切であると判断するもの

〔許可の条件〕

- (1) 使用料は別途発行する納入通知により展示室等使用前に納入すること。
- (2) 搬入・展示・搬出の際は、使用許可証に記載している時間を遵守すること。
- (3) 搬出撤去作業は20時まで終了すること（時間厳守）。なお、展覧会開始日の3週間前までに「搬出撤去に係る閉室時間繰り上げ申請書」を提出することにより、通常18時の搬出撤去日の閉室時間を15時まで繰り上げることができること。この場合、他の来館者の迷惑とならないよう館職員の指示に従い、搬出撤去作業には万全の注意を払うこと。
- (4) 閉室時間を繰り上げる場合の周知、説明は主催者の責により行うこととし、繰り上げに伴う使用料の返金は行わないこと。
- (5) 使用者が、その責に帰す理由により使用物件、そのほか財産の全部または一部を滅失または損傷したときは、損害を賠償するものとする。ただし、現状に回復した場合はこの限りではない。
- (6) 出陳作品の保管、監視等管理上の責は使用者が負うものとする。
- (7) 上記(1)～(6)及び第1項を遵守できない場合若しくはその他展示室の使用に際して当館職員の指示に従わない場合は、その後の展示室使用については認めず、その場合、(1)の使用料は返金しないこと。

◆新型コロナウイルス感染症拡大防止対策（※令和5年5月22日一部改訂）

令和5年度については、5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが変更されたことに伴い、感染拡大防止対策について見直しを実施。

○来館者について

- ・検温、手指消毒及びマスクの着用の有無は個人の判断に委ねる。

○展示室利用者について

- ・高齢者や基礎疾患を有する方など重症化リスクの高い方及び引き続きマスクの着用を希望する方来館者の存在が考えられることから来館者と接する際はマスクの着用をお願いした。

令和5年度展示施設(貸館等)使用状況

利用団体等	延べ開催日数(日)	入場者数(名)
入場有料の場合(有料展) 0団体	0	0
入場無料の場合(無料展) 29団体	175	20,502
計 29団体	175	20,502

令和5年度展示施設使用者一覧

No	展覧会名称	主催者	期間	展示室	内容	入場料	入場者数
1	チョークアートグループ展vol.11	グラフィティ・ファクトリー チョークアートデザインズ	6/6-6/11	彫	チョークアート	無料	423
2	創部70周年記念 久留米連合文化会デザイン部展	久留米連合文化会デザイン部	6/6-6/11	1,2	グラフィックデザイン	無料	186
3	第10回 日・韓交流展『玄海の窓』展	日・韓交流展『玄海の窓』	6/6-6/11	3	絵画	無料	112
4	POLYGONAL AIR	Uku Art Fund	6/13-6/18	彫	彫刻、インスタレーション	無料	322
5	魅惑こ・ぎ・れの世界	キルトスペース聚	6/13-6/18	1	パッチワークキルト等	無料	809
6	清田恵泉55周年 社中展	清田与志子	6/13-6/18	2,3	書	無料	402
7	世界の秘境を征く『中村勝人』絵画展	中村勝人	6/13-6/18	4	油彩・水彩	無料	227
8	天涯白雲秦生即中国中央美術学院 1992年同窓会美術作品展	NPO法人国際宋徽宗書画 芸術研究院	6/20-6/25	1	水墨画	無料	310
9	荒木スミ子レザールアート展	荒木スミ子	6/20-6/25	2,3	皮革アート	無料	748
10	第19回あとりえ展	あとりえ	6/20-6/25	彫	油彩、水彩、色鉛筆等	無料	470
11	第8回九州国展 同時開催絵画部公募作品展	国画会九州支部	6/27-7/2	1~3	絵画、版画	無料	724
12	風にふかれて 中川三四郎(油彩)松田博文(写真)	中川三四郎、松田博文	6/27-7/2	彫	絵画、写真	無料	505
13	第51回「日本の書展」九州展	公益財団法人全国書美術 振興会	7/4-7/9	1~4	書	無料	865
14	第21回九州二紀展	九州二紀会	7/11-7/17	1~4	絵画、彫刻	無料	554
15	第38回高文連福岡地区書道展	福岡県高等学校芸術文化 連盟 福岡支部	7/19-7/23	1,2	書	無料	306
16	第53回青像グループ写真展	青像グループ	7/19-7/23	3	写真	無料	93
17	第31回ふくおか県民文化祭2023 2023福岡県シニア美術展	福岡県、公益社団法人福 岡県美術協会、ふくおか 県民文化祭実行委員会	10/7-10/15	彫、1~4	日本画、洋画、彫刻、 工芸、書、写真、デザ イン	無料	5,714
18	創立50周年記念 景柳書道学会作品展	景柳書道学会	10/17-10/22	1~3	書等	無料	847
19	篠栗写真クラブ作品展	篠栗写真クラブ	10/17-10/22	4	写真	無料	346
20	アトリエ・エトルリア合同作品展	アトリエ・エトルリア	10/17-10/22	彫	ガラス工芸、彫金	無料	806
21	MOA美術館 福岡児童作品展	MOA美術館(公財)岡田茂吉美術 文化財団、MOA美術館福岡児童作 品展実行委員会	10/24-10/29	彫	絵画、書	無料	1,552

No	展覧会名称	主催者	期間	展示室	内容	入場料	入場者数
22	第65回福岡県医師会文化祭美術展	公益社団法人福岡県医師会	10/31-11/5	彫	絵画、写真、書	無料	336
23	第20回姚明中国水墨画書道研究会展	姚明中国水墨画書道研究会	11/7-11/12	彫	水墨画、書	無料	473
24	第9回示現会福岡支部公募展	一般社団法人示現会福岡支部	11/14-11/19	彫	水彩、油彩等	無料	538
25	写楽壮健(大熊信雄写真教室)	大熊信雄	11/21-11/26	彫	写真	無料	727
26	テキスタイル&ファイバーアートグループgrasp第22回展	テキスタイル&ファイバーアートグループgrasp	11/28-12/3	彫	テキスタイル、ファイバーアート	無料	535
27	カワイ絵画造形教室「ちいさなてがあとそんだ」	(株)河合楽器製作所	12/5-12/10	彫	平面、立体等	無料	794
28	第8回一東書道会福岡支局展	一東書道会 福岡支局	12/12-12/17	彫	書	無料	397
29	9人の作家によるRO展	Friends2	12/19-12/24	彫	写真、アクリル画等	無料	381
総 計							20,502

※令和5年度の展示室貸出期間は、令和5年6月6日～令和5年12月24日まで。(令和5年4月1日～6月4日、令和5年12月26日～令和6年3月31日まで臨時休館)

普及事業

◆美術館ニュース「とっぷらいと」の発行状況

号数 (発行月)	主な掲載記事
第125号 (R5.6)	<ul style="list-style-type: none">・ 展覧会紹介「コレクション展Ⅰ 特集 ひろがる日本画」・ コレクション通信「横尾芳月《茶々殿》」・ 続・福岡県美術家列伝「坂宗一」・ 展覧会予告 「1976年の児島善三郎展、そして2023年の児島善三郎展」・ スケジュール
第126号 (R5.9)	<ul style="list-style-type: none">・ 展覧会紹介「児島善三郎が描いた花—キャンバスに刻んだ永遠の命」・ 続・福岡県美術家列伝「(続) 坂宗一」・ コレクション通信「児島善三郎《^{くしげず}梳る女》」・ 展覧会紹介「令和5年度福岡県立美術館所蔵品巡回展 移動美術館展」・ スケジュール
第127号 (R6.3)	<ul style="list-style-type: none">・ 展覧会紹介「鹿児島睦 まいにち展」・ 続・福岡県美術家列伝「野見山暁治」・ 2024年度のコレクション展・ 展覧会報告「令和5年度福岡県立美術館所蔵品巡回展 移動美術館展」・ スケジュール

◆美術教養講座

・「生誕130年 児島善三郎展」レクチャー

「児島善三郎の生涯と芸術」

日時：令和5年11月4日(土) 14時～15時30分

講師：高山百合（福岡県立美術館学芸員）

35名参加（事前予約不要）

・「生誕130年 児島善三郎展」レクチャー

「児島善三郎の日本」

日時：令和5年11月18日(日) 14時～15時30分

講師：西本匡伸（福岡県立美術館特任学芸員）

23名参加（事前予約不要）

◆ 「令和5年度スケジュール」の発行状況

1 掲載内容

- ・特別展、企画展の展覧会情報
- ・コレクション展の展覧会情報
- ・利用案内、交通案内等

2 発行部数

32,000部（日本語版26,000部、英語版6,000部）

3 主な送付先

全国美術館、全国博物館、県内大学、県内画廊、画材店、市町村教委、県立学校、教育庁各課、教育庁出先、アクロス福岡、その他文化センター、近郊ホテル等

◆ ホームページコンテンツについて (<https://fukuoka-kenbi.jp/>)

1 コンテンツの種類

- ・美術館について
 - ・展覧会・イベント
 - ・コレクション
コレクションについて、所蔵品検索、どこでもケンビ、野十郎通信、所蔵品200選
 - ・アクセス・施設案内
アクセス（交通案内）、利用案内、施設貸出
 - ・美術館からのお知らせ
お知らせ、ケンビブログ、県展について、新福岡県立美術館整備について、刊行物、県内のミュージアム、お問い合わせ
- ※『県内のミュージアム』では福岡県博物館協議会加盟館園を掲載
（『地震、そのとき博物館はー福岡県西方沖地震における県内博物館の被災に関する報告書』のダウンロードによる紹介あり）

2 ホームページアクセス数

702,603件

◆スクール・ミュージアム事業（アートコース）

1 趣 旨

福岡県立美術館は、福岡県における美術活動の促進と県民の美術に関する知識と教養の向上に寄与する展覧会活動などを長年続けてきた。特に近年、地域社会における美術館の役割が注目され、それに伴い美術館と学校との連携もますます重要になってきている。図画工作科・美術科学習指導要領では、児童生徒や学校の実態に応じて地域の美術館などを利用したり、連携を図ったりするよう明示されており、美術館で行う鑑賞教育の積極的な実施が求められるようになってきている。

こうした現状を踏まえ、福岡県教育委員会が推進する学校支援事業の一環として、福岡県立美術館、福岡県青少年科学館、九州歴史資料館及び一般財団法人福岡県教職員互助会の四者で児童生徒の体験活動にかかる合同事業を行うことにより、情操教育、美術教育、科学教育、歴史教育の活性化及び地域文化の振興発展に寄与することを目的とし、スクール・ミュージアム事業を実施している。

福岡県立美術館で実施するスクール・ミュージアム事業（アートコース）では、児童生徒に美術館で本物の美術作品を直に鑑賞する機会を提供している。学芸員による展覧会の説明やワークシートを活用した鑑賞活動など様々なプログラムを通して、児童生徒の新たな見方や感じ方への気づきを導き、同時に文化施設利用のマナーについて自覚を高めることに貢献している。

2 主 催：福岡県立美術館、福岡県青少年科学館、九州歴史資料館、一般財団法人福岡県教職員互助会

3 実施期間：令和5年6月～令和6年12月

※令和5年2月28日（火）～6月4日（日）、令和5年12月26日（火）～令和6年3月31日（日）は臨時休館のため実施無し

4 実施対象展覧会

（1）コレクション展Ⅰ ひろがる日本画

令和5年6月6日（火）～ 令和5年8月31日（木）

（2）第78回福岡県美術展覧会（県展）

令和5年9月5日（火）～ 令和5年10月1日（日）

（3）生誕130年 児島善三郎展

令和5年10月7日（土）～ 令和5年12月24日（日）

（4）テレビシリーズ放送開始15周年記念 ひつじのショー展

令和5年10月27日（金）～ 令和5年12月24日（日）

5 対 象 校：県内の公立小・中・義務教育学校・高等学校、中等教育学校、特別支援学校

6 補助対象経費（主催者負担）

- ・実施対象展覧会の観覧料（児童生徒及び引率教員分）
- ・往復バス借上料及び有料道路使用料（実費相当額）（ただし、バス借上料は上限額あり。）
※往復の経路に体験活動を重視した他の社会教育施設等を含めることも可能
- ・学習プログラムの実施に係る材料費

7 実施校一覧

小学校

No.	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			館主催の展覧会	主な実施内容
					月	日	時間		
1	うきは市立山春小学校	3	23	2	6月23日	金	午前	コレクション展Ⅰ ひろがる日本画	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
2	久留米市立青峰小学校	5	10	2	6月29日	木	午後	コレクション展Ⅰ ひろがる日本画	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
3	久留米市立船越小学校	5	11	2	7月12日	水	午前	コレクション展Ⅰ ひろがる日本画	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
4	大川市立宮前小学校	6	17	2	9月14日	木	午後	第78回福岡県美術展覧会(日本画・工芸・デザイン)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
5	うきは市立吉井小学校	4	35	2	10月11日	水	午前	児島善三郎展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
6	久留米市立竹野小学校	5	24	2	10月12日	木	午前	児島善三郎展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
7	久留米市立長門石小学校	5	72	3	10月13日	金	午前	児島善三郎展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
8	久留米市立青木小学校	6	18	2	11月8日	水	午前	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
9	上毛町立友枝小学校	6	15	2	11月10日	金	午前	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
10	春日市立春日野小学校	4	91	6	11月16日	木	午前	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
11	福岡市立峯岐東小学校	5	18	2	11月29日	水	午前	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
12	筑紫野市立天拝小学校	4	48	3	11月30日	木	午前	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
13	久留米市立水縄小学校	6	32	3	12月6日	水	午前	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
		計		414	33				

中学校

No.	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			対象展覧会	主な実施内容
					月	日	時間		
14	水巻町立水巻南中学校	3	97	10	6月28日	水	午前	コレクション展Ⅰ ひろがる日本画	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
15	水巻町立水巻中学校(美術部)	全	13	1	7月21日	金	午前	コレクション展Ⅰ ひろがる日本画	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
16	柳川市立柳南中学校	1	57	4	9月6日	水	午前	第78回福岡県美術展覧会(彫刻・写真)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
17	みやま市立山川中学校	3	47	4	9月8日	金	午前	第78回福岡県美術展覧会(彫刻・写真)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
18	みやま市立瀬高中学校	3	112	6	10月27日	金	午後	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
19	福岡市立玄界中学校	1・2	4	2	11月7日	火	午後	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
20	八女市立見崎中学校	3	43	5	11月21日	火	午前	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
21	八女市立矢部清流学園 中学校	7~9	10	4	11月24日	金	午前	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
22	福岡市立柏原中学校	1~3	15	4	11月28日	火	午前	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
23	飯塚市立穂波東中学校	1	85	7	12月5日	火	午前	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
		計		483	47				

高等学校

No.	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			対象展覧会	主な実施内容
					月	日	時間		
24	福岡県立八幡中央高等学校(芸術コース)	1・2	73	6	10月17日	火	午後	児島善三郎展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
25	福岡県立大川樟風高等学校(定時制)	1~4	19	9	11月2日	木	午前	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
26	福岡県立福島高等学校(定時制)	全	25	10	11月17日	金	午前	児島善三郎展、ひつじのショーン展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
		計		117	25				

特別支援学校

No.	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			対象展覧会	主な実施内容
					月	日	時間		
27	福岡県立福岡聴覚特別支援学校	1~3	13	9	9月20日	水	午前	第78回福岡県美術展覧会(洋画)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による実演
		計		13	9				

	児童生徒数	引率数	総計
参加校数(27校)	1,027	114	1,141

収集事業

◆収集基本方針

1 美術品

福岡県出身作家及び本県ゆかりの作家の近世・近代・現代の作品を対象とする。

2 美術資料

ア 国内外の展覧会図録や大型画集を中心に美術図書を収集する。

イ 広く美術館情報収集に努める。

ウ 美術関係のビデオソフトの充実を図る。

エ ハイビジョンソフトの充実を図る。

◆収集美術品数

年度	種別 購入金額(税込)(円)	日本画	洋画	彫刻	工芸	その他	合計
平成11年度以前	1,049,792,500	86 67	131 1,366	26 76	82 186	2 16	327 1,711
平成12年度	0	10	17			2	29
平成13年度	0	1	36			1	38
平成14年度	0	5	18	3	25	65	116
平成15年度	0	2	82	2	6		92
平成16年度	0	6	12	2			20
平成17年度	0		21	1		1	23
平成18年度	0	2	17	2	2	1	24
平成19年度	0	2	5		1		8
平成20年度	0	2	36				38
平成21年度	0	2	18		1		21
平成22年度	0	5	15	7	7		34
平成23年度	0	2	23	5			30
平成24年度	0	1	2	1	1	3	8
平成25年度	0	31	14		10	5	60
平成26年度	0		4			1	5
平成27年度	0	3	31				34
平成28年度	0	2	29	1	5		37
平成29年度	0	7	13		25	36	81
平成30年度	70,350,000	1	25	1	6	13	46
令和元年度	0	2	203	56		4	265
令和2年度	81,000,000	4	60	3		67	134
令和3年度	0	6	15	3	4	4	32
令和4年度	20,130,000	2	14	1	9		25
令和5年度	0	5	18		24	1	48
合計	1,221,272,500	88 176	135 2,094	26 164	91 305	2 220	342 2,959
		264	2,229	190	396	222	3,301

上段は購入件数、下段は寄贈件数(管理換を含む)

◆令和5年度新収蔵品（購入）一覧

該当なし

◆令和5年度新収蔵品（寄贈）一覧

no	作家名	作品名	制作年	材質 種別	数量	寸法
1	板谷房	少女とバラ	昭和43年	油彩・画布 洋画	1面	54.2×45.0cm
2	大田歳	尾瀬沼	制作年不詳	紙本着彩 日本画	1面	32.5×44.5cm
3	大田歳	水辺風景	制作年不詳	紙本着彩 日本画	1面	33.8×149.3cm
4	大田歳	阿蘇牧場	昭和33年	紙本着彩 日本画	1面	42.0×50.5cm
5	大田歳	雪溪之図	制作年不詳	紙本着彩 日本画	1面	43.0×51.0cm
6	大田歳	瀨八丁春之図	制作年不詳	紙本着彩 日本画	1面	46.8×50.0cm
7	三輪壽雪	白萩窯変角花入	昭和42年	陶器 工芸	1口	6.8×6.8、高26.8cm
8	三輪壽雪	白萩グイノミ	平成23年	陶器 工芸	1口	径8.5、高5.0cm
9	井上萬二	青白磁水滴	昭和62年以前	磁器 工芸	1口	径7.4、高5.5cm
10	13代今泉今右衛門	色絵薄墨唐草文額皿	平成5年以前	磁器 工芸	1口	径19.8、高3.5cm
11	13代今泉今右衛門	色鍋島牡丹絵花瓶	平成12年	磁器 工芸	1口	口径12.4、高27.5cm
12	13代今泉今右衛門	色鍋島野菜絵額皿	制作年不詳	磁器 工芸	1口	径25.7、高4.0cm
13	13代今泉今右衛門	色絵薄墨草花文花瓶	制作年不詳	磁器 工芸	1口	口径7.0、胴径16.0、高21.5cm
14	14代今泉今右衛門	色絵薄墨はじき草花文置物	平成9年	磁器 工芸	1口	一辺4.0、高6cm
15	鈴田滋人	木版摺更紗掛袱紗「彩映」	平成23年	木版摺更紗 工芸	1枚	31.5×29.5cm
16	須藤雅路	瓶花	制作年不詳	油彩・画布 洋画	1面	45.5×38.0cm
17	須藤雅路	花のデザイン1	制作年不詳	油彩・画布 洋画	1面	45.5×38.0cm
18	須藤雅路	花のデザイン2	制作年不詳	油彩・画布 洋画	1面	53.0×45.5cm
19	須藤雅路	鳥のデザイン	制作年不詳	油彩・画布 洋画	1面	45.5×38.0cm
20	須藤雅路	鳥と舟	制作年不詳	油彩・画布 洋画	1面	45.5×38.0cm
21	須藤雅路	草花文耳付壺	昭和48年	陶器 工芸	1口	高26.4、最大径11.5、口径5.3cm
22	須藤雅路	草花文耳付広口壺	昭和48年頃	陶器 工芸	1口	高32.3、最大径13.0、口径8.2cm
23	小林敬生	幻華一春：芽生え一	平成4年	木口木版 洋画	1面	30.8×25.6cm
24	小林敬生	幻華一夏：少女一	平成4年	木口木版 洋画	1面	30.6×25.6cm
25	小林敬生	幻華一秋に遊ぶ一	平成4年	木口木版 洋画	1面	30.5×25.5cm
26	小林敬生	幻華一冬に咲く一	平成4年	木口木版 洋画	1面	30.6×25.6cm
27	小林敬生	蘇生の刻一朝へ一	平成3年	木口木版 洋画	1面	66.7×37.5cm
28	松枝玉記	久留米緋裂「豊穰(子)」	昭和46年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm
29	松枝玉記	久留米緋裂「東風(丑)」	昭和47年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm
30	松枝玉記	久留米緋裂「咆哮来福(寅)」	昭和48年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm
31	松枝玉記	久留米緋裂「餅兔(卯)」	昭和49年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm
32	松枝玉記	久留米緋裂「雲龍招福(辰)」	昭和63年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm
33	松枝玉記	久留米緋裂「宝珠(巳)」	昭和51年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm
34	松枝玉記	久留米緋裂「はにわの馬(午)」	昭和40年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm

35	松枝玉記	久留米絣裂「聖羊(未)」	昭和41年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm
36	松枝玉記	久留米絣裂「睦み(申)」	昭和54年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm
37	松枝玉記	久留米絣裂「勝鬨(酉)」	昭和55年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm
38	松枝玉記	久留米絣裂「たわむれ(戌)」	昭和56年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm
39	松枝玉記	久留米絣裂「雪径猪突(亥)」	昭和57年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm
40	松枝玉記	久留米絣裂「天翔る」	昭和44年	藍染綿織物 工芸	1枚	35.5×28.5cm
41	松本英一郎	降霊術師	昭和35年	油彩・画布 洋画	1面	137.0×183.5cm
42	松本英一郎	平均的肥満体	昭和42年	油彩・画布 洋画	1面	160.2×130.3cm
43	松本英一郎	退屈な風景(牛)	昭和47年	油彩・画布 洋画	1面	130.3×160.2cm
44	松本英一郎	頂上の風景	昭和60年	油彩・画布 洋画	1面	130.3×160.2cm
45	松本英一郎	さくら・うし '96-7	平成8年	油彩・画布 洋画	1面	130.3×160.2cm
46	石井勢津子	リバーサイド	昭和58年	DCG 反射型ホログラム(ガラス)、寒水石 その他	1点	サイズ可変
47	古川吉重	TOWN 1	平成10年	リトグラフ・紙 洋画	1面	35.5×24.4cm
48	古川吉重	TOWN 2	平成10年	リトグラフ・紙 洋画	1面	35.5×24.4cm

◆美術館資料整備状況

1 美術図書室収納図書資料数

大 分 類		総 冊 数 (R6. 3. 31現在)	令和5年度 受入冊数	内 訳	
				購 入	寄 贈
A	美 術 総 記	5,418	71	0	71
B	日 本 美 術	3,974	49	0	49
C	西 洋 美 術	2,149	25	0	25
D	東 洋 美 術	463	1	0	1
E	図 録	23,890	535	0	535
F	福 岡 資 料	2,110	40	0	40
G	関 係 諸 学	1,787	6	0	6
計		39,791	727	0	727

※雑誌 25タイトル 16,284冊

2 ビデオテープ数

大 分 類	本 数
A 当館企画展覧会	6
B 西 洋 美 術	46
C 現 代 美 術	6
D 東 洋 美 術	16
E 世界古代遺跡	25
F 日本美術（平安時代）	27
G 日本美術（中世～近世）	28
H 日本美術（近代日本画・洋画等）	26
I 日本美術（近代工芸）	63
J 技法・学習	30
K その他	16
計	289

注) ビデオブースは、当面の間使用中止

3 ハイビジョンソフト数

鑑賞ソフト	本数
「日本で見られる19世紀フランス美術」 (20タイトル)	20
「パリで見られる19世紀フランス美術」 (20タイトル)	20
「印象派展覧会」 (8タイトル)	8
「連作の魅力」 (12タイトル)	12
「都市の表情」 (4タイトル)	4
「パリで見られる19世紀フランス美術II」 (10タイトル)	10
「人物画の名品」 (10タイトル)	10

4 複製絵画数

95点

5 利用者数等

図書室開室日数	166 日
図書室利用者数	1,963 人
レファレンス数	356 件

博物館実習

令和5年度博物館実習は、3大学から7名の実習生を受け入れて実施した。

実習テーマを「見ること」として、他館での展覧会を鑑賞する事前学習にはじまり、実習期間中に開催していた「コレクション展Ⅰ ひろがる日本画」を用いて、展覧会の目的や企画のための方法やその普及について学んだ。さらには、スクールミュージアム事業において、当館に訪れた子どもたちが美術作品の鑑賞の仕方を学ぶ様子を見学するなど、美術館や鑑賞教育の現場における現状を把握するとともに、その課題を見つけて検討を行った。

さらに本実習では、美術品の取扱いに必要な技術のみならず、学芸員として備えるべき視点や考え方について、受講者自身が考えるための講義と実習を行った。

・実習期間

令和5年7月5日(水)―令和5年9月29日(金)のうち7日

・実習内容

- 1) 福岡県立美術館について (講義)
- 2) 展覧会企画について (講義)
- 3) 美術品、美術関連資料の取扱いについて
 - ・作家及び作品調査に必要な視点について (講義)
 - ・油彩画、版画等のコンディションチェック、調書作成等 (実習)
- 4) コレクション展Ⅰ「ひろがる日本画」展を用いた活動
 - ・展覧会紹介 (講義)
 - ・鑑賞教育現場における現状・課題の把握 (実習)
 - ・ギャラリートーク (実習)
 - ・作品の魅力紹介 (実習)
- 5) 美術図書室を用いた活動
 - ・美術館における美術図書室の在り方 (講義)
 - ・美術図書室作業 (実習)

大学名	人数
佐賀大学	2名
筑紫女学園大学	1名
福岡大学	4名
合計 3大学	7名

美術作品の貸出

貸出件数 9 件 貸出点数 59 点

No.	分野	作家名／産地	作品名	主催者	展覧会期・会場	目的
1	水彩素描画	横尾龍彦	「七つの燈台」	神奈川県立近代美術館	令和5年2月4日～4月9日 神奈川県立近代美術館 葉山	「横尾龍彦 瞑想の彼方」展への出品のため。
				埼玉県立近代美術館	令和5年7月15日～9月24日 埼玉県立近代美術館	
2	工芸	赤坂	「梅竹文徳利」 「黄釉蝸尻茶碗」	九州芸文館美術展実行委員会	令和5年4月22日～5月21日 九州芸文館	「福岡県立美術館コレクション展 工芸のちくごー歴史と暮らしとものづくり」展への出品のため。
		坂東寺	「煎茶窯」 「鳳凰文風炉」			
		二川	「二彩松文壺」			
		星野	「夕日釉蛟龍文徳利」 「三耳付葉茶壺」			
		柳原	「伊羅保茶碗」 「海鼠釉木瓜形句入水指」			
		朝妻	「色絵菊花文深鉢」			
		朝田	「染付吉夢図徳利」			
		小石原	「打掛釉瓢形大徳利」			
		太田熊雄	「白打掛釉大皿」			
		太田孝宏	「飴釉白逆流大壺」			
		太田秀隆	「灰釉掛分組皿」			
		福島善三	「中野月白瓷壺」			
		城下久実	「ほろほろ鳥」（寄託）			
		久留米 久留米 久留米	「水天宮（竹菊亀入）」（寄託） 「高砂文蒲団地」（寄託）			
		初代 森山虎雄	「久留米絣着尺「蚊絣」」			
		2代 森山虎雄	「久留米絣着物「菱の花」」			
		松枝玉記	「久留米絣着物「機之音」」 「久留米絣着尺「浄水の賛歌」」			
		松枝哲哉	「筑後路・花火シリーズII」			
		柏崎栄助	「筑後花箆見本1」 「筑後花箆見本2」 「筑後花箆テーブルマット1」 「筑後花箆テーブルマット2」 「筑後花箆テーブルマット3」			
		鹿児島寿藏	「紙塑人形「卑弥呼」」 「紙塑人形「鶺鴒川」」			
筈島鑪一	「髹漆盤「日輪」」					
豊田勝秋	「遅日」 「青銅瓶」					
二科十朗	「走馬」 「タヒチ」					

計 1点

計 36点

3	油彩画	野見山暁治	「廃坑(A)」 「シャルルロア 赤いボタ山」 「蔵王」	久留米市美術館、RKB毎日放送	令和5年4月22日～6月4日 久留米市美術館	「コレクションing4 野見山暁治の見た100年」展への出品のため。	計 4点
		山口長男	「宙」				
4	油彩画	高島野十郎	「蠟燭」	川崎市岡本太郎美術館、顕神の夢展実行委員会	令和5年4月29日～6月25日 川崎市岡本太郎美術館	「顕神の夢」展への出品のため。	計 1点
				足利市立美術館、顕神の夢展実行委員会	令和5年7月2日～8月17日 足利市立美術館		
				久留米市美術館、読売新聞社、テレQ、顕神の夢展実行委員会	令和5年8月26日～10月15日 久留米市美術館		
				町立久万美術館、久万高原町、愛媛新聞社、愛媛CATV、顕神の夢展実行委員会	令和5年10月21日～12月24日 町立久万美術館		
				碧南市藤井達吉美術館、碧南市、碧南市教育委員会、顕神の夢展実行委員会	令和6年1月5日～2月25日 碧南市藤井達吉現代美術館		
5	工芸	鹿児島寿藏	「紙塑人形「有間皇子」」 「紙塑人形「珠裳」」	市立伊丹ミュージアム（伊丹ミュージアム運営共同事業体／伊丹市）	令和5年6月30日～8月27日 市立伊丹ミュージアム	「鹿児島睦 まいにち」展への出品のため。 ※巡回展のため、令和6年4月24日～6月23日は当館で開催。	計 2点
				PLAY!MUSEUM	令和5年10月7日～令和6年1月7日 PLAY!MUSEUM		
				佐野美術館、三島市、三島市教育委員会	令和6年2月24日～4月14日 佐野美術館		
6	油彩画等	池田龍雄	「失踪した楯円」 「BRAHMAN 第1章 梵天」 「BRAHMAN 第2章 宇宙卵」 「BRAHMAN 第3章 球体浮遊」 「BRAHMAN 第4章 螺旋粒動」 「BRAHMAN 第5章 点生」 「BRAHMAN 第6章 気跡」 「BRAHMAN 第7章 結象」 「BRAHMAN 第8章 晶華」 「BRAHMAN 第9章 褶曲」 「BRAHMAN 第10章 場の相」	佐賀県立美術館	令和5年9月6日～10月29日 佐賀県立美術館	「佐賀県立美術館40周年特別展「あそび、たたかうアーティスト 池田龍雄」」展への出品のため。	計 11点
7	油彩画	阿部金剛	「Rien No.1」	京都府、京都文化博物館	令和5年12月16日～令和6年2月4日 京都府京都文化博物館	「シュルレアリスムと日本」展への出品のため。 ※巡回展のため、令和6年4月27日～6月30日は三重県立美術館で開催。	計 1点
				板橋区立美術館、東京新聞	令和6年3月2日～4月14日 板橋区立美術館		
8	日本画	邨田丹陵	「大宮人」 「狩之図」	(公財)立川市地域文化振興財団、(公財)たましん地域文化財団	令和6年1月13日～3月31日 たましん美術館	「邨田丹陵 時代を描いたやまと絵師」展への出品のため。	計 2点
9	日本画	川辺御楯	「源氏物語 花之宴・伊勢物語 龍田山」 ※双幅のうち右幅「花之宴」のみ貸出。	東京富士美術館	令和6年2月24日～3月24日 東京富士美術館	「開館40周年記念 源氏物語 THE TAIL OF GENJI -「源氏文化」の拡がり 絵画、工芸から現代アートまで-」展への出品のため。	計 1点

どこでもケンビ（バーチャル美術館事業）

福岡県立美術館では、新型コロナウイルスと共存せざるを得ないこの時代、「新しい生活様式」への対応のため、地方創生臨時交付金によりバーチャル美術館等の制作に取り組み、令和3年3月29日に公開を開始した。

具体的には、当館ホームページのトップページ等をリニューアルして、よりわかりやすく情報をお知らせするとともに、新たに「どこでもケンビ」と題して、そこに「福岡県立バーチャル美術館」と「edukenbi（えでゅけんび）」という2つの魅力的なサイトを立ち上げ、自宅等にいながらも、当館の美術品をじっくり鑑賞し、また児童生徒の皆さんにも楽しく学習してもらえるような内容にした。

◆福岡県立バーチャル美術館

<https://virtualmuseum.fukuoka-kenbi.jp/>

「高島野十郎の世界」、「福岡県美のたからもの」、「福岡県立美術館紹介ムービー」の3つの柱で構成し、「孤高の画家」、「蠟燭の画家」として知られる高島野十郎（1890-1975）の作品を中心に、当館が所蔵する珠玉の作品を自宅等にいながら高精細画像で鑑賞することができ、そしていつかまた本物を観るために美術館を訪れたいくなるような内容を目指した。

令和5年度アクセス数 94,872件

◆edukenbi（えでゅけんび）

<https://edukenbi.fukuoka-kenbi.jp/>

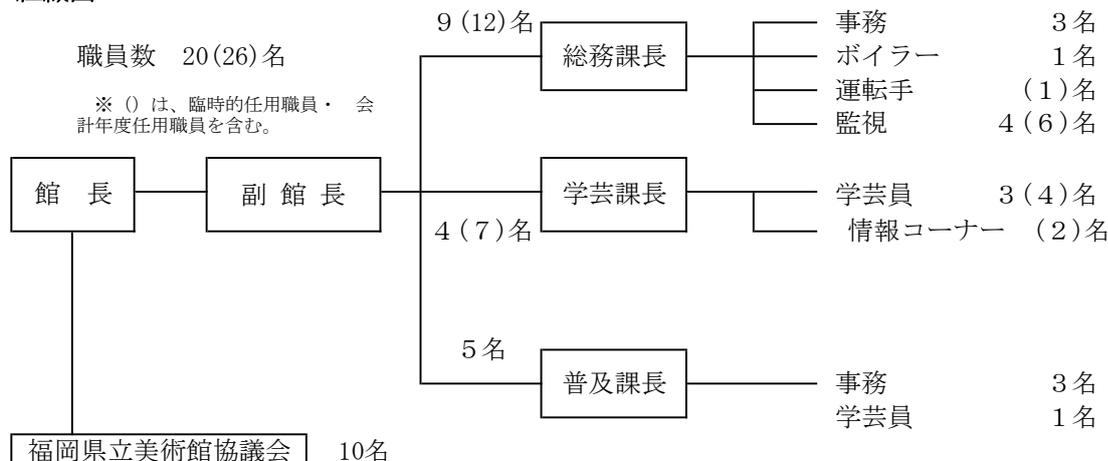
「子どもたちのための美術と学びのウェブサイト」として、おうちにいながら、インタラクティブな地図を探索して福岡県立美術館の作品について学んだり、動画をみたり、アクティビティに挑戦したりできる内容にした。

今後も作品紹介や動画を随時追加しながら、そのほかのインタラクティブなツールや学校の先生や保護者に役立つ資料・素材などを提供していく予定である。

令和5年度アクセス数 16,960件

組織図・名簿

組織図



令和5年度職員

館長	寺崎 雅巳	学芸課長	鈴木 理恵
副館長	明永 好弘	特任学芸員	西本 匡伸
総務課長	末吉 大祐	技術主査	高山 百合
総務課副長	林田 朋子	技術主査	岡部 るい
事務主査	原 遊	主任技師	中島 由実子
主事	高野 晃平	図書室補助職員	長田 杉美
主任技能員	大東 正治	図書室補助職員	池田 千代美
主任技能員	山口 聡	普及課長	畑山 智
主任技能員	野中 篤成	普及課副長	草野 聡子
主任技能員	松村 貴行	指導主事	
技能員	井上 誠治	兼事務主査	高橋 大輔
技能員	大東 誠幸	主事	白井 ちはや
技能員	山田 吉生	技師	八並 美咲
技能員	豊福 康廣		

福岡県立美術館協議会委員

任期 自 令和5年9月7日
至 令和7年9月6日

委員名	現職名
糸山 裕子	NPO法人 アートマネージメントセンター福岡代表理事
今林 久	福岡県議会議員
植野 健造	福岡大学人文学部教授
牛川 由美	筑紫野市教育委員会委員
小泉 惠英	九州国立博物館副館長
小田部 黄太	公益社団法人 福岡県美術協会理事長
田中 憲育	福岡県立稲築志耕館高等学校長
辻 未央	NPO法人 宇美こども子育てネットうーみん副代表理事
中山 景子	久留米市市民文化部文化振興課課長補佐兼主査 学芸員
三島 美佐子	九州大学総合研究博物館教授

※名簿 50音順

福岡県立美術館協議会開催状況

日時 令和6年2月9日(金)

- 議事
- (1) 会長の選出、職務代理者の指名について
 - (2) 令和5年度実施の主要事業について
 - (3) 令和5年度福岡県立美術館の自己評価について
 - (4) 令和6年度実施予定の主要事業(案)について
 - (5) 令和6年度福岡県立美術館の自己評価(計画段階)について

主要各室概要

展示部門

	展示室	面積 (㎡)	使用料 (1日)		摘 要
			有料展	無料展	
1	彫刻展示室	147	5,580	3,710	天井高 5.38m 搬入口 W1.7×H2.6 (m)
3	展示室 1	298	11,030	7,310	天井高 3.25m 固定壁面 224m 壁面延長時306m (最大) (可動パネル使用) 展示室1 107m 展示室2 80m 展示室3 69m 展示室4 57m 可動パネル w1.66×H2.6×D0.95 (m)
	展示室 2	198	7,440	4,960	
	展示室 3	189	7,060	4,710	
	展示室 4	131	4,710	3,090	
	計	816			
4	常設展示室	441	観覧料 () 内は団体料金 一般 210円 (170円) 高大生 140円 (110円) 小中生 60円 (50円)		天井高 3.3m 固定壁面 119m 固定ケース 6.7m×6
合 計		1,404			
4	ギャラリー		壁面 (傾斜角30°の展示台) 19m		

収蔵部門

階	室 名	面積 (㎡)	摘 要
収蔵庫 3～7	収 蔵 庫	245	49㎡ × 5室 搬出入エレベータ 出入口寸法 幅2,000mm 高さ2,500mm かご内法 間口2,000mm 奥行2,450mm
本館3	大内田茂士 遺作収蔵庫	46	
合 計		291	

サービス部門

階	室名	面積 (m ²)	摘要
1	カフェテラス	80	喫茶・軽食
2	ハイビジョン ギャラリー		10席 65インチ液晶テレビ 静止画再生装置
4	視聴覚室	87	80席 大型スクリーン 16mm映写機 スライド映写機、液晶プロジェクター 使用料 9:00~12:00 3,710円 13:00~18:00 6,200円
	美術図書室 情報コーナー	236	11席 開架式書架、自由閲覧方式 美術情報レファレンスカウンター コインロッカー(23)
	ビデオコーナー		4ブース(8席)自動放映システム 番組自由選択

管理部門

階	室名
1	監視室、印刷燻蒸室、ボイラー管理室、機械室、シャワー室、職員休憩室 総合案内控室、美術団体交流室
2	館長室、副館長室、事務室(総務課・学芸課・普及課)、会議室
3	荷解室、倉庫
4	情報コーナー事務室、視聴覚編集室、視聴覚操作室、撮影室

ロビー・その他

階	室名	摘要
1	総合案内	
	エントランスホール	コインロッカー、ロビーチェア、車椅子、ベビーカー
2	ロビー	丸テーブル、ロビーチェア
	授乳室	ベンチ
3	主催者控室	
	エントランスホール	コインロッカー
	休憩コーナー	ロビーチェア
4	エントランスホール	車椅子、ベビーカー

建築概要

- 1 名称 福岡県立美術館
- 2 管理
 - 設置者 福岡県
 - 管理者 福岡県立美術館
 - 主管課 福岡県教育庁教育振興部社会教育課
- 3 所在地 福岡市中央区天神 5 丁目 2 番 1 号
(郵便番号 810-0001)
- 4 電話等 電話 092-715-3551
FAX 092-715-3552
- 5 供用開始日 昭和 60 年 (1985 年) 11 月 3 日
- 6 建築
 - 工期 昭和 59 年 7 月 6 日 (起工) ~ 昭和 60 年 7 月 31 日 (竣工)
 - 設計 (株)佐藤企画 (旧称: 佐藤設計事務所)
福岡県建築部営繕課
 - 施工 建築工事 (株)龍建設・旭・広田建設共同企業体
電気工事 東和・サン電工建設企業体
設備工事 大橋・久栄共同企業体
 - 総工費 約 14 億円
- 7 土地
 - 面積 敷地 5,645.95 m²
 - 財産分類 借受
 - 所有者 福岡市
 - 現況地目 宅地
 - 借受目的 美術館用地
 - 借受期間 当初 昭和 35 年 9 月 1 日
開始 昭和 60 年 8 月 1 日 (貸借契約締結)
終了 美術館の存する間
 - 借受料 なし
- 8 建物
 - 分類 行政財産
 - 構造 鉄筋コンクリート造地上 4 階建 (本館部分)
鉄骨鉄筋コンクリート造地上 7 階建 (収蔵庫部分)
 - 価格 776,704,873 円 (平成 29 年 3 月 31 日現在)
 - 面積 敷地面積 5,645.95 m²
建設面積 1,975.83 m²
延床面積 6,929.08 m²

設備概要

- 1 電気設備
 - 変圧器 単相 50KVA×1、単相 75KVA×2
三相 200KVA×1、三相 1,2相(スコット)30KVA×1
進相コンデンサー 50KVA×1、20KVA×4
 - 直流電源装置 鉛蓄電池(シール形据置)150Ah-10HR
 - 非常用発電機 ガスタービン 3φ-3W 220V 187.5KVA
 - 電話設備 電子式 局線 5回線
 - 放送設備 防災放送設備、BGM放送設備、インターホン設備
 - 防災設備 自動火災報知、煙感知器連動制御、非常照明
非常放送、誘導灯
 - 防犯設備 I TV監視装置 カメラ 17台(うち電動式 13台)
 - 視聴覚設備 AVガイドシステム 3ブース
16ミリ映写機、スライド映写機
データビューアー
ハイビジョン 65インチ液晶テレビ
設置型液晶プロジェクター 静止画再生装置
移動型液晶プロジェクター
 - 照明設備 展示室 紫外線防止用自然白色蛍光灯 40W
(調光付 80~450LUX)、白熱電球 60W
配線ダクト設備
収蔵庫 紫外線防止用自然白色蛍光灯 40W
視聴覚室 紫外線防止用自然白色蛍光灯 40W
ロビー レフランプ 100W
- 2 機械設備
 - 冷温水発生機 吸収冷温水機ガス焼き HAU-FH100CXR 冷凍 351.6kW 加熱 422.0kW
 - 空気調和器 6基(ファンコイルユニット併用)
- 3 給排水設備 受水槽(FRP製)16t、高架水槽(FRP製)4.5t
- 4 昇降機設備 乗用(兼用:車いす用) 750Kg 1基、乗用 2,200Kg 1基
荷物用 2,000Kg 1基
- 5 加湿設備 電気蒸発式加湿器 蒸気発生量 15 kg/H

年度別入館者状況

年度 区分		平成25年度 以 前	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 1	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	累 計	
展 覧 会 ①	常設展	239,220	2,997	6,114	13,395	10,784	15,311	9,085	7,626	7,551	7,170	3,005	322,258	
	企画展	225,791	4,347	8,441	6,182	6,574	9,258	8,043	1,737	2,627	7,298	5,532	285,830	
	共 催 展	県展	345,522	9,512	9,843	9,337	9,805	8,893	8,990	0	7,028	7,200	7,815	423,945
		実行委 員会展	1,279,754	8,685	41,475	76,495	77,411	63,781	52,842	12,010	18,167	21,053	23,562	1,675,235
	小計	1,625,276	18,197	51,318	85,832	87,216	72,674	61,832	12,010	25,195	28,253	31,377	2,099,180	
	貸館展	2,671,382	34,520	58,008	76,652	86,253	89,722	64,334	24,418	32,593	46,392	20,502	3,204,776	
計	4,761,669	60,061	123,881	182,061	190,827	186,965	143,294	45,791	67,966	89,113	60,416	5,912,044		
展 覧 会 ②	移動美術館展	10,083	2,108	1,079	1,268	3,527	1,246	1,871	1,471	818	2,016	1,033	26,520	
	イベント等	23,948	1,773	4,309	7,084	6,545	4,604	3,576	379	687	2,028	1,110	56,043	
	計	34,031	3,881	5,388	8,352	10,072	5,850	5,447	1,850	1,505	4,044	2,143	82,563	
そ の 他 他	美術図書室	217,203	1,746	4,131	4,411	4,617	4,380	3,371	1,740	1,872	2,764	1,963	248,198	
	ビデオブース	152,952	405	1,464	1,167	974	1,380	882	0	0	0	655	159,879	
	ハイビジョン	200,410	3,042	6,714	15,078	4,914	6,216	5,010	5,139	2,922	3,810	2,805	256,060	
	カフェテラス (未集計)	10,760	20,685	29,910	27,482	28,545	21,383	8,035	7,402	8,141	4,415	166,758		
計	570,565	15,953	32,994	50,566	37,987	40,521	30,646	14,914	12,196	14,715	9,838	830,895		
合 計	5,366,265	79,895	162,263	240,979	238,886	233,336	179,387	62,555	81,667	107,872	72,397	6,825,502		

年間開館日数	—	175	268	304	304	305	277	258	269	269	165	—
--------	---	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---

企画展の開催状況一覧

(過去10ヶ年)

年度	展覧会名	開催会期 (開催日数)	入場者数		
			総数	有料	無料
25	郷土の美術をみる・しる・まなぶ 特別編 江上茂雄 風ノ影、絵ノ奥ノ光	25.10.5～11.10(32日間)	4,458	2,208	2,250
	計		4,458	2,208	2,250
26	福岡県文化会館建設50年記念 とっとと? きおく×キロク＝	26.10.4～11.24(45日間)	2,703	922	1,781
	古川吉重 1921-2008	27.2.7～3.15(32日間)	1,644	703	941
計		4,347	1,625	2,722	
27	紙、やどる形	27.10.10～11.23(40日間)	4,030	1,754	2,276
	型と花と 釜我敏子の型絵染	27.11.29～28.1.17(37日間)	4,411	1,658	2,753
計		8,441	3,412	5,029	
28	九大百年 美術をめぐる物語	28.10.8～11.13(32日間)	2,831	762	2,069
	郷土の美術をみる・しる・まなぶ 2017 写真家片山攝三 肖像写真の軌跡	29.2.4～3.20(39日間)	3,351	2,018	1,333
計		6,182	2,780	3,402	
29	郷土の美術をみる・しる・まなぶ 番外編 ARS/NATURA - 「風景」の向こう側 -	29.10.7～11.26(44日間)	2,982	1,633	1,349
	没後50年 中村研一展	30.2.3～3.11(32日間)	3,592	1,867	1,725
計		6,574	3,500	3,074	
30	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2018 泰光コレクション寄贈記念展 鹿兒島寿蔵の人形と短歌	30.10.6～11.25(44日間)	4,513	2,179	2,334
	平成30年度独立行政法人国立美術館巡回展 国立国際美術館コレクション:美術のみかた 自由自在	30.12.18～31.2.5(37日間)	4,745	2,773	1,972
計		9,258	4,952	4,306	
令和元	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2019 新たな高島野十郎展	1.10.5～11.24(44日間)	7,001	3,971	3,030
	赤星孝と赤星信子展	2.2.1～3.8(32日間) →2.27で中止(23日間)	1,042	528	514
計		8,043	4,499	3,544	
2	1964-福岡県文化会館、誕生。	2.7.18～8.27(35日間) →次年度へ開催延期	-	-	-
	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2020 生きることから 柏崎栄助とデザイン	3.1.23～3.14(44日間)	1,737	855	882
計		1,737	855	882	
3	1964-福岡県文化会館、誕生。	2.7.23～9.2(36日間) →新型コロナウイルス感染症の感染 拡大防止のため8.5で中止(12日間)	311	169	142
	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2021 豊福知徳寄贈記念展 光の探求	4.1.22～3.13(44日間)	2,316	1,242	1,074
計		2,627	1,411	1,216	
4	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2022 牛島智子 2重らせんはからまない	4.10.15～12.4(44日間)	2,032	939	1,093
	寄贈記念展 野見山暁治	4.12.17～5.2.12(43日間)	5,266	2,802	2,464
計		7,298	3,741	3,557	
5	生誕130年 児島善三郎展	5.10.7～5.12.10(55日間)	5,532	2,514	3,018
計		5,532	2,514	3,018	

※令和5年度は改修工事等に係る臨時休館のため、企画展は1本のみ。

共催展(実行委員会方式)の開催状況一覧

(過去10か年)

年度	展覧会名	開催会期 (開催日数)	入場者数			共催等
			総数	有料	無料	
26	草月流秘蔵コレクション展	26.11.8～26.12.23 (40日間)	8,685	4,628	4,057	毎日新聞社 RKB毎日放送
	平成26年度 移動美術館 福岡県立美術館名作60選 アートで結ぶ虹色ハイウェイ	26.9.4～26.9.28 (22日間)	2,108	351	1,757	行橋市 行橋市教育委員会
	計		10,793	4,979	5,814	
27	金子みすゞ・金澤翔子 ーひびきあう詩と書ー展	27.6.20～27.7.26 (32日間)	15,858	9,514	6,344	毎日新聞社 RKB毎日放送
	没後40年 高島野十郎展	27.12.4～28.1.31 (45日間)	25,617	18,447	7,170	西日本新聞社 TNCテレビ西日本
	平成27年度 移動美術館 たちあらい 伝説と祈りの里ミュージアム	28.2.14～28.2.28 (13日間)	1,079	185	894	大刀洗町 大刀洗町教育委員会
計		42,554	28,146	14,408		
28	色彩の奇跡 印象派展	28.4.16～28.6.5 (45日間)	47,858	35,404	12,454	TNCテレビ西日本 西日本新聞社
	ピアトリクス・ポター™生誕150周年 ピーターラビット™展	28.10.28～28.12.11 (39日間)	28,637	21,090	7,547	読売新聞社 RKB毎日放送 東映
	平成28年度 移動美術館 なかま 色とかたちのハーモニー	29.2.9～29.2.28 (18日間)	1,268	117	1,151	中間市 中間市教育委員会
計		77,763	56,611	21,152		
29	POWER OF PRINCESS 「ディズニープリンセスとアナと雪の女王 展」	29.4.14～29.6.11 (52日間)	57,009	46,015	10,994	電通 KBC九州朝日放送
	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展	29.10.27～29.12.10 (39日間)	20,402	14,032	6,370	西日本新聞社 TVQ九州放送 朝日新聞社
	平成29年度 移動美術館 柏の森の美術館	29.11.2～29.12.4 (34日間)	3,527	402	3,125	飯塚市教育委員会
計		80,938	60,449	20,489		
30	息を呑む繊細美 切り絵アート展	30.4.20～30.6.3 (41日間)	33,361	24,216	9,145	毎日新聞社 RKB毎日放送
	印象派への旅 海運王の夢 バレルコレクション	30.10.12～30.12.9 (52日間)	30,420	20,202	10,218	毎日新聞社 FBS福岡放送
	平成30年度 移動美術館展 大きなクスの木の下で美術館展vol.10	31.2.2～31.2.24 (20日間)	1,246	238	1,008	宗像市教育委員会 宗像ユリックス
計		65,027	44,656	20,371		

年度	展覧会名	開催会期 (開催日数)	入場者数			共催等
			総数	有料	無料	
31 (1)	ウォルト・ディズニー・アーカイブス展	31.4.19～1.6.16 (52日間)	41,070	31,512	9,558	KBC九州朝日放送 電通
	大相撲展福岡	1.10.18～1.12.1 (41日間)	11,772	7,054	4,718	読売新聞社 RKB毎日放送 LOVE FM 東映
	令和元年度 移動美術館展 出会おう！ミカでアート	2.1.10～2.2.6 (24日間)	1,871	222	1,649	那珂川市教育委員会 公益財団法人那珂川 市教育文化振興財団
	計		54,713	38,788	15,925	
2	ストラスブール美術館展 ～印象派からモダンアートへの眺望～	2.6.5～2.7.19 (39日間)		※開催中止		毎日新聞社 TNCテレビ西日本
	没後70年 吉田博展	2.10.16～2.12.13 (51日間)	12,010	9,378	2,632	毎日新聞社 RKB毎日放送
	令和2年度 移動美術館展 おおむたアートミュージアム	3.1.20～3.2.11 (21日間)	1,471	445	1,026	大牟田市 公益財団法人大牟田 市文化振興財団
	計		13,481	9,823	3,658	
3	ムーミンコミックス展	3.5.15～3.7.11 (50日間)	10,849	8,912	1,937	西日本新聞社 RKB毎日放送 東映
	近代日本絵画の名作展 一ひろしま美術館コレクション	3.10.29～3.12.26 (51日間)	7,318	6,093	1,225	毎日新聞社 西日本新聞社
	令和3年度 移動美術館展 時を超えたアートステーション	4.1.18～4.2.13 (24日間)	818	505	313	桂川町教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		18,985	15,510	3,475	
4	杉浦非水 時代をひらくデザイン	4.4.15～4.6.12 (52日間)	11,590	9,447	2,143	KBC九州朝日放送 西日本新聞社
	日本の切り絵 7人のミュージズ	4.10.28～4.12.25 (51日間)	9,463	7,230	2,233	毎日新聞社 TNCプロジェクト TNCテレビ西日本
	令和4年度 移動美術館展 梅香る八女は美術も華ざかり!	5.2.4～4.2.26 (20日間)	2,016	916	1,100	八女市 八女市教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		23,069	17,593	5,476	
5	テレビシリーズ放送開始15周年記念 ひつじのショーン展	5.10.27～5.12.24 (51日間)	23,562	20,152	3,410	九州朝日放送 東映
	令和5年度 移動美術館展 アート、すえひろがり。	5.11.3～5.11.26 (21日間)	1,033	388	645	須恵町 須恵町教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		24,595	20,540	4,055	

※実行委員会方式による共催展は昭和62年度から実施。

福岡県美術展覧会(県展)の開催状況一覧

(過去10か年)

年 度	会 期	公 募		入 場 者 数		
		出品数(人数)	入選数(人数)	総 数	有 料	無 料
26	1期 9月2日～9月7日 書	3,424(2,841)	1,371(1,369)	9,512	3,669	5,843
70	2期 9月9日～9月15日 洋画					
回	3期 9月17日～9月21日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月23日～9月28日 工芸 写真					
27	1期 9月8日～9月13日 書	3,435(2,848)	1,372(1,365)	9,843	3,789	6,054
71	2期 9月15日～9月20日 洋画					
回	3期 9月22日～9月27日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月29日～10月4日 工芸 写真					
28	1期 9月6日～9月11日 書	3,414(2,813)	1,368(1,360)	9,337	3,444	5,893
72	2期 9月13日～9月19日 洋画					
回	3期 9月21日～9月25日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月27日～10月2日 工芸 写真					
29	1期 9月5日～9月10日 書	3,235(2,667)	1,347(1,338)	9,805	4,049	5,756
73	2期 9月12日～9月18日 洋画					
回	3期 9月20日～9月24日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月26日～10月1日 工芸 写真					
30	1期 9月4日～9月9日 書	2,947(2,471)	1,338(1,320)	8,893	3,688	5,205
74	2期 9月11日～9月17日 洋画					
回	3期 9月19日～9月24日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月26日～9月30日 工芸 写真					
31	1期 9月3日～9月8日 書	2,822(2,346)	1,323(1,303)	8,990	3,562	5,428
(1)	2期 9月10日～9月16日 洋画					
75	3期 9月18日～9月23日 日本画 彫刻 デザイン					
回	4期 9月25日～9月29日 工芸 写真					
2	※開催中止					
76						
回						
3	1期 9月7日～9月12日 彫刻 写真	2,587(2,161)	1,313(1,292)	7,028	2,792	4,236
76	2期 9月14日～9月20日 日本画 工芸 デザイン					
回	3期 9月22日～9月26日 洋画					
	4期 9月28日～10月3日 書					
4	1期 9月6日～9月11日 彫刻 写真	2,501(2,094)	1,289(1,271)	7,200	2,850	4,350
77	2期 9月13日～9月19日 日本画 工芸 デザイン					
回	3期 9月21日～9月25日 洋画					
	4期 9月27日～10月2日 書					
5	1期 9月5日～9月10日 彫刻 写真	2,441(2,501)	1,307(1,289)	7,815	2,956	4,859
78	2期 9月12日～9月18日 日本画 工芸 デザイン					
回	3期 9月20日～9月24日 洋画					
	4期 9月26日～10月1日 書					

県展巡回展の開催状況一覧

(過去10か年)

○第70回県展(平成26年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月6日～10月12日	大牟田文化会館	808人 日本画・洋画・書・写真 223点
宗像展	10月15日～10月26日	宗像ユリックス	835人 日本画・洋画・書・写真 183点
筑豊展	10月28日～11月16日	嘉麻市立織田廣喜美術館	740人 日本画・洋画・写真・デザイン・書 250点
北九州展	11月18日～11月24日	北九州市立美術館	4,275人 全7部門 576点

○第71回県展(平成27年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
宗像展	10月14日～10月23日	宗像ユリックス	644人 日本画・洋画・書・写真 183点
筑後展	11月8日～11月14日	大牟田文化会館	714人 日本画・洋画・書・写真 206点
筑豊展	11月17日～12月6日	嘉麻市立織田廣喜美術館	987人 日本画・洋画・写真・デザイン・書 253点

○第72回県展(平成28年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月10日～10月16日	大牟田文化会館	788人 日本画・洋画・書・写真 214点
筑豊展	11月1日～11月20日	嘉麻市立織田廣喜美術館	786人 日本画・洋画・書・写真・デザイン 242点
宗像展	11月22日～12月4日	宗像ユリックス	820人 日本画・洋画・書・写真 177点

○第73回県展(平成29年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月9日～10月15日	大牟田文化会館	905人 日本画・洋画・書・写真 211点
筑豊展	10月31日～11月19日	嘉麻市立織田廣喜美術館	874人 日本画・洋画・書・写真・デザイン 242点
宗像展	11月21日～12月2日	宗像ユリックス	669人 日本画・洋画・書・写真 180点

○第74回県展(平成30年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月8日～10月14日	大牟田文化会館	715人 日本画・洋画・書・写真 214点
宗像展	10月16日～10月28日	宗像ユリックス	651人 日本画・洋画・書・写真 174点
筑豊展	10月30日～11月18日	嘉麻市立織田廣喜美術館	961人 日本画・洋画・書・写真・デザイン 238点
北九州展	11月20日～11月25日	北九州市立美術館	2,098人 全7部門 550点

○第75回県展(2019年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月7日～10月13日	大牟田文化会館	560人 日本画・洋画・書・写真 203点
宗像展	10月16日～10月25日	宗像ユリックス	478人 日本画・洋画・書・写真 172点
筑豊展	10月29日～11月17日	嘉麻市立織田廣喜美術館	746人 日本画・洋画・書・写真・デザイン 263点
北九州展	11月19日～11月24日	北九州市立美術館	2,193人 全7部門 557点

○第76回県展(令和2年度)

※開催中止

○第76回県展(令和3年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月12日～10月17日	大牟田文化会館	533人 日本画・洋画・書・写真 213点
筑豊展	10月20日～11月7日	嘉麻市立織田廣喜美術館	747人 日本画・洋画・書・写真・デザイン 269点
宗像展	11月9日～11月21日	宗像ユリックス	585人 日本画・洋画・書・写真 185点
北九州展	11月24日～11月28日	北九州市立美術館	2,274人 全7部門 579点

○第77回県展(令和4年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月10日～10月16日	大牟田文化会館	595人 日本画・洋画・書・写真 188点
筑豊展	10月18日～11月6日	嘉麻市立織田廣喜美術館	773人 日本画・洋画・書・写真・デザイン 251点
宗像展	11月8日～11月20日	宗像ユリックス	579人 日本画・洋画・書・写真 164点
北九州展	11月30日～12月4日	北九州市立美術館	1,811人 全7部門 565点

○第78回県展(令和5年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月8日～10月14日	大牟田文化会館	497人 日本画・洋画・書・写真 175点
筑豊展	10月18日～11月5日	嘉麻市立織田廣喜美術館	646人 日本画・洋画・書・写真・デザイン 238点
宗像展	11月7日～11月19日	宗像ユリックス	569人 日本画・洋画・書・写真 154点
北九州展	11月22日～11月26日	北九州市立美術館	1,908人 全7部門 559点

主要貸館展の開催状況一覧

(過去10か年)

年度	展覧会名	開催会期	開催日数	入場者数	主催者
26	2014福岡県シニア美術展	26.10.15～26.10.26	11日間	2,807	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
27	ホジエル・メロ展	27.4.23～27.5.17	22日間	6,204	西日本新聞社
	2015福岡県シニア美術展	27.10.20～27.11.1	12日間	5,528	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
28	2016福岡県シニア美術展	28.10.12～28.10.23	11日間	6,028	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
29	2017福岡県シニア美術展	29.10.11～29.10.22	11日間	5,227	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
30	2018福岡県シニア美術展	30.7.3～30.7.16	13日間	5,203	福岡県 (公社)福岡県美術協会
31 (1)	2019福岡県シニア美術展	1.10.2～1.10.14	12日間	5,115	福岡県 (公社)福岡県美術協会
2	2020福岡県シニア美術展	2.10.3～2.10.11 福岡県立美術館(日・洋・彫・工) 〔2.10.3～2.10.8〕 〔アクロス福岡(書・写・デ)〕	8日間 〔6日間〕	1,502	福岡県 (公社)福岡県美術協会
3	2021福岡県シニア美術展	3.10.12～3.10.24	12日間	2,191	福岡県 (公社)福岡県美術協会
4	2022福岡県シニア美術展	4.10.12～4.10.23	11日間	4,944	福岡県 (公社)福岡県美術協会
5	2023福岡県シニア美術展	5.10.7～5.10.15	8日間	5,714	福岡県 (公社)福岡県美術協会

美術館利用案内

利用案内

●開館時間

展覧会	午前 10 時～午後 6 時（入場は午後 5 時 30 分まで）
ハイビジョン・ギャラリー	午前 9 時～午後 6 時
美術図書室	午前 9 時～午前 12 時、午後 1 時～午後 5 時 30 分
ビデオブース	午前 9 時～午後 5 時 30 分

●休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌平日）
年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

交通案内

●福岡市地下鉄空港線	天神駅	徒歩 10 分
●西鉄天神大牟田線	西鉄福岡(天神)駅	徒歩 15 分
●西鉄バス	福岡市民会館	徒歩 2 分
	市民会館南口	徒歩 2 分
	天神北	徒歩 5 分
●自動車	福岡都市高速道路〔天神北〕ランプ	3 分
	〃	〔築港〕ランプ 3 分
●専用駐車場	乗用車 50 台駐車可	（令和 6 年 4 月以降制限あり）

